

令和7年度

研修講座案内

幼稚園・保育所
認定こども園等
小学校
中学校
義務教育学校
高等学校
特別支援学校



基本研修講座 「実践の指導力向上研修講座（中学校8年目）」



基本研修講座 「新任研究主任研修講座（小・中学校、特別支援学校）」



専門研修講座 「主体的・対話的で深い学びの
実現に向けた算数科の授業づくり」



専門研修講座 「人間関係づくりに生かす
構成的グループエンカウンター」

秋田県総合教育センター

〒010-0101 秋田県潟上市天王字追分西29番地の76

TEL(018)873-7200(代表) FAX(018)873-7201

(研修講座案内URL) <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/80113>

※内容等が変更になる場合があります。最新の情報は当センターウェブサイトに掲載します。

目 次

I	令和7年度研修講座編成に当たって	
1	研修講座の基本方針	1
2	研修講座の特色	1
3	研修講座の運営に当たって	1
II	センター研修講座の計画	
1	研修講座一覧	2
2	研修講座年間計画	8
III	センター研修講座の実施要項	
1	基本研修講座（A講座）	11
2	専門研修講座（C講座）	66
IV	オンライン研修	119
V	公開講演	121
VI	センター研修講座の受講に関わる諸手続	
	小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校	122
	幼稚園・保育所・認定こども園等	124
VII	センター研修講座の受講に関わる諸手続の様式	
	研修講座情報システム入力時の注意事項	125
	（様式1）研修講座受講申込者名簿（幼稚園・保育所・認定こども園等用）	126
	（様式2）講座追加受講申込者名簿	127
	（様式3）欠席届	128
	（様式4）公開講演聴講申込書	129
VIII	学校支援講座	130
	（様式5）学校支援講座申込書	132
IX	センター研修講座受講に当たって	133
X	災害等が発生した場合の研修講座の取扱い	133

交通案内

I 令和7年度研修講座編成に当たって

秋田県教職員研修体系（令和7年、秋田県教育委員会）に基づき、教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の向上を目指す総合的・体系的な研修を推進する。

1 研修講座の基本方針

- (1) 学校教育の諸課題に適切に対応するために必要な資質能力を高める研修
- (2) 学校教育目標を組織的に実現するために必要なマネジメント能力を身に付ける研修
- (3) 課題の本質に向き合い、自らの考えを問い直すことで見方を広げる研修

2 研修講座の特色

アクティブ・ラーニング型研修の充実

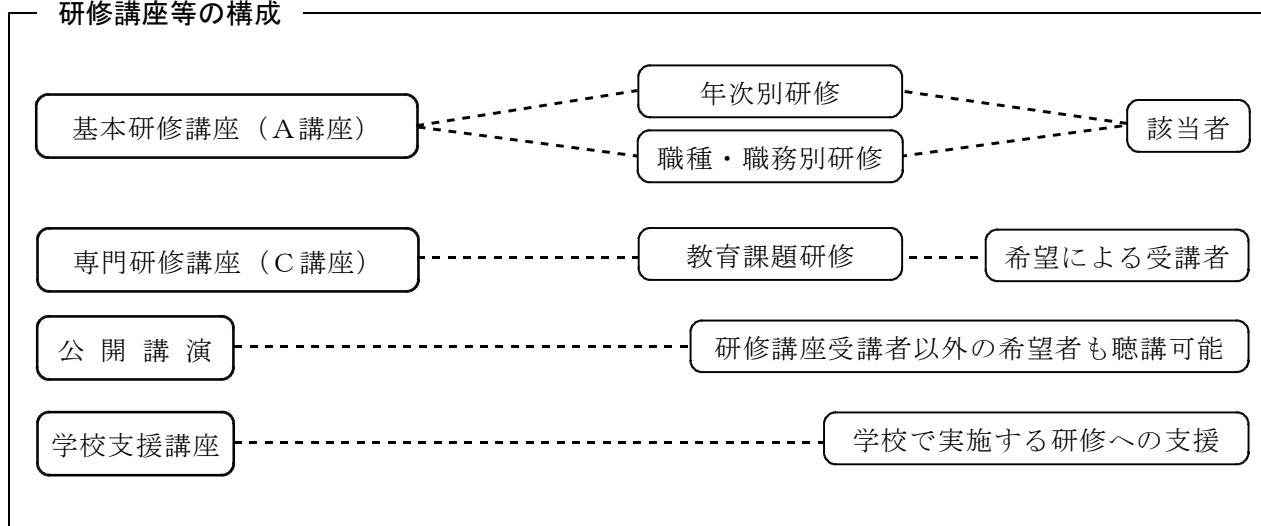
- 視点① 教師の自律的な学びの活性化を促進するプログラム
- 視点② 受講者自身が主体的・対話的に研修を進められるプログラム
- 視点③ 受講者自身が自らの実践を振り返り、気づきを得ることを目指したプログラム

- (1) 年次別研修においては、校種や教職キャリアステージに応じ、年次間の系統性を重視した内容の充実を図る。
- (2) 職種・職務別研修においては、それぞれの分掌・役割の在り方について問い直し、職務遂行に必要な資質能力の向上につながる内容の充実を図る。
- (3) 専門研修においては、今日的課題や最新の動向を踏まえ、専門的な理論の習得や実践的な指導力の向上を図るとともに、多様なニーズに応える内容の工夫に努める。
- (4) 他者との交流を通じて、自らの視野を広げたり、自らの価値観を問い直したりすることができるプログラム構成の工夫に努める。
- (5) 児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育む指導力の向上を図るとともに、ICTの効果的な活用による授業改善や校務の効率化に資する内容の充実を図る。
- (6) 受講者自身が実践を振り返ったり、探究心をもって継続的に自身の資質向上に取り組んだりすることができる内容の充実を図る。

3 研修講座の運営に当たって

- (1) 秋田県総合教育センターが有する機能や施設設備を十分活用するとともに、所外の専門施設・人材等についても効果的な活用を図る。
- (2) 関係各課・所等との緊密な連携を図り、より効果的な研修講座の運営に努める。
- (3) 研修成果をOJTで活用できるように、研修講座の内容や研修資料等の工夫改善に努める。
- (4) 集合型研修を基本としつつ、オンライン研修を取り入れることにより、それぞれの特性を生かした効果的・効率的な研修講座の運営に努める。

研修講座等の構成



Ⅱ センター研修講座の計画

注1：秋田県総合教育センター担当の研修のみを示しています。
注2：講座名、対象校種の「小学校」には義務教育学校の前期課程を、
「中学校」には義務教育学校の後期課程、県立高等学校中等部を
それぞれ含むこととします。

1 研修講座一覧

基本研修講座（A講座）

区分	講座番号	期	月	日	講 座 名	対象校種					定員	掲載 ページ
						幼 保 認	小	中	高	特		
初任者研修	A－1A	I	4	16	初 任 者 研 修 講 座（ 小 学 校 A ）	○				該当者	12 13	
		II	4	30								
		III	6	18								
		IV	7	29								
		V	8	4								
		VI	9	3								
		VII	10	8								
		VIII	11	5								
		IX	1	8								
	A－1B	I	4	16	初 任 者 研 修 講 座（ 小 学 校 B ）	○				該当者	14 15	
		II	5	7								
		III	6	25								
		IV	7	29								
		V	8	6								
		VI	9	10								
		VII	10	22								
		VIII	11	19								
		IX	1	8								
	A－2	I	4	23	初 任 者 研 修 講 座（ 中 学 校 ）	○				該当者	16 17	
		II	5	28								
		III	7	9								
		IV	7	31								
		V	8	4								
		VI	8	27								
		VII	10	1								
		VIII	11	12								
		IX	1	8								
	A－3	I	4	23	初 任 者 研 修 講 座（ 高 等 学 校 ）			○		該当者	18 19	
		II	5	14								
		III	6	11								
		IV	7	31								
		V	8	6								
		VI	8	27								
		VII	9	17								
		VIII	9～10月中									
		IX	10	29								
		X	1	6								
	A－4	I	4	23	初 任 者 研 修 講 座（ 特 別 支 援 学 校 ）				○	該当者	20 21	
		II	5	14								
		III	6	11								
		IV	7	31								
		V	9	3								
		VI	9	24								
		VII	10	8								
		VIII	1	7								

区分	講座番号	期	月	日	講 座 名	対象校種					定員	掲載 ページ
						幼 保 認	小	中	高	特		
実践的指導力習得研修	A-5A	I	6	12	実践的指導力習得研修講座（小学校2年目A）		○				該当者	22
		II	7	30								
	A-5B	I	6	17	実践的指導力習得研修講座（小学校2年目B）		○				該当者	23
		II	8	7								
	A-6	I	5	29	実践的指導力習得研修講座（中学校2年目）			○			該当者	24
		II	8	20								
	A-7	I	5	26	実践的指導力習得研修講座（高等学校2年目）				○		該当者	25
		II	9	19								
	A-8	I	6	18	実践的指導力習得研修講座（特別支援学校2年目）					○	該当者	26
		II	11	11								
5年目研修	A-10	I	7	1	教職5年目研修講座（小学校）		○				該当者	28
		II	10	7								
	A-11	I	7	3	教職5年目研修講座（中学校）			○			該当者	29
		II	10	28								
	A-12	I	6	19	教職5年目研修講座（高等学校）				○		該当者	30
		II	9	12								
実践的指導力向上研修	A-15	I	7	7	実践的指導力向上研修講座（小学校8年目）		○				該当者	33
		II	10	3								
	A-16	I	6	6	実践的指導力向上研修講座（中学校8年目）			○			該当者	34
		II	8	28								
	A-17	I	6	20	実践的指導力向上研修講座（高等学校8年目）				○		該当者	35
		II	7	23								
中堅教諭等資質向上研修	A-20	I	6	24	中堅教諭等資質向上研修講座（小学校）		○				該当者	38
		II	8	1								
		III	9	9								
		IV	10	21								
	A-21	I	6	24	中堅教諭等資質向上研修講座（中学校）			○			該当者	39
		II	7	28								
		III	9	11								
		IV	10	21								
	A-22	I	6	24	中堅教諭等資質向上研修講座（高等学校）				○		該当者	40
		II	8	5								
		III	9	18								
		IV	10	21								
	A-23	I	6	24	中堅教諭等資質向上研修講座（特別支援学校）					○	該当者	41
		II	7	10								
		III	9	25								
		IV	10	21								
	A-24	I	6	24	中堅教諭等資質向上研修講座（養護教諭）		○	○	○	○	該当者	42
		II	小9	9								
		III	高9	18								
発展指導力 発展研修	A-25		8	4	実践的指導力発展研修講座		○	○	○	○	該当者	43

区分	講座番号	期	月	日	講 座 名	対象校種					定員	掲載 ページ
						幼 保 認	小	中	高	特		
校長	A-26	I	5	9	小・中学校新任校長研修講座		○	○			該当者	44
		II	6	4 5								
	A-27	I	5	9	県立学校新任校長研修講座						該当者	45
		II	6	4 5					○	○		
教頭	A-28	I	5	15	小・中学校新任教頭研修講座		○	○			該当者	46
		II	7	30								
	A-29	I	5	15	県立学校新任教頭研修講座					○	該当者	47
		II	7	30					○	○		
教務主任	A-30	I	5	30	小・中学校新任教務主任研修講座		○	○			該当者	48
		II	10	23								
	A-31	I	5	27	県立学校新任教務主任研修講座					○	該当者	49
		II	10	23						○		
研究主任	A-32	I	5	8	新任研究主任研修講座（小・中学校、特別支援学校）		○	○		○	該当者	50
		II	9	29								
学年主任	A-33	I	5	16	中学校新任学年主任研修講座			○			該当者	51
		II	6	27								
	A-34	I	5	16	高等学校新任学年主任研修講座				○		該当者	52
		II	6	27								
生徒指導主事	A-35	I	5	20	小学校新任生徒指導主事研修講座		○			○	該当者	53
		II	10	20								
	A-36	I	5	20	中学校新任生徒指導主事研修講座			○		○	該当者	54
		II	10	20								
	A-37	I	5	20	高等学校新任生徒指導主事研修講座					○	該当者	55
		II	10	20						○		
導進主路事指	A-38		7	8	中学校新任進路指導主事研修講座			○			該当者	56
推進徳教教師育	A-39		7	2	小・中学校新任道德教育推進教師研修講座		○	○			該当者	57
	A-40		7	2	高等学校新任道德教育推進教師研修講座				○		該当者	58
特学新担任	A-41	I	5	12	小・中学校特別支援学級新担任研修講座						該当者	59
		II	県北 8	28			○	○				
			県央10	3								
			県南 9	26								
指導級	A-42		4	17	通級指導教室新担当者研修講座		○	○	○		該当者	60
講師等研修A	A-43		4	25	小学校講師研修講座 A		○				該当者	61
	A-44		4	25	中学校講師研修講座 A			○			該当者	62
	A-45		4	25	高等学校講師等研修講座 A				○		該当者	63
	A-46		4	25	特別支援学校講師等研修講座 A					○	該当者	64
	A-47		4	25	養護教諭（臨時）研修講座 A		○	○	○	○	該当者	65

専門研修講座（C講座）

区分	講座番号	期・回	月	日	講 座 名	対象校種					定員	掲載ページ
						幼 保 認	小	中	高	特		
国語	C-1		8	1	国語科における「書く力」を育む指導の工夫		○	○	○	○	30	67
	C-2		7	4	国語科における「読む力」を育む指導の工夫		○	○	○	○	30	68
	C-3		9	5	「話す力・聞く力」を育む指導の工夫		○	○	○	○	20	69
社会・ 地歴公民	C-4		8	5	資質・能力の育成に向けた小学校社会科の授業づくり		○			○	12	70
	C-5		8	6	資質・能力の育成に向けた中学校社会科の授業づくり			○		○	12	71
	C-6		9	25	資質・能力の育成に向けた高等学校地歴・公民科の授業づくり				○		12	72
算数・ 数学	C-7		7	31	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた算数科の授業づくり		○			○	20	73
	C-8		6	27	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた中学校数学科の授業づくり			○		○	20	74
	C-9		9	26	高等学校数学科の授業づくり				○	○	15	75
理科	C-10		7	31	児童が問題を科学的に解決する小学校理科の授業づくり		○			○	18	76
	C-11		6	26	生徒が科学的に探究する中学校理科の授業づくり			○		○	18	77
	C-12		7	25	生徒が科学的に探究する高等学校理科の授業づくり				○		12	78
生活	C-13		9	5	気付きの質を高める生活科の授業づくり	○	○				15	79
外国語活動・ 外国語	C-14		7	25	伝え合う力の素地・基礎を養う小学校外国語教育		○	○		○	20	80
	C-15		6	26	「話す力」、「書く力」を育む英語科の授業			○	○		20	81
	C-16	A	7	4	JTE English Workshop(中学校、高等学校等)			○	○		20	82
		B	7	4	JTE English Workshop(小学校、特別支援学校等)		○			○	20	
音楽	C-17		8	19	児童生徒が創意工夫して表現する音楽科の授業づくり		○	○	○	○	15	83
図画工作・ 美術	C-18		7	4	子どもが生き生きと活動する「造形遊び」	○	○			○	18	84
	C-19		6	20	育成する資質・能力から考える図画工作科の授業		○				18	85
	C-20		10	2	ICTを活用した図画工作科、美術科の授業づくり ー「メタパース×キンビ」による鑑賞活動ー		○	○	○		18	86
体育・ 保健体育	C-21		9	26	幼児児童の基本的な動きづくりの指導 ー子どもの体力向上につながる授業づくりー	○	○			○	30	87
	C-22		6	20	保健体育科授業（ダンス）の充実			○	○		15	88

区分	講座番号	期・回	月	日	講 座 名	対象校種					定員	掲載ページ
						幼 保 認	小	中	高	特		
技術・家庭	C-23		10	30	資 質 ・ 能 力 の 育 成 に 向 け た 授 業 づ く り － 中 学 校 技 術 ・ 家 庭 科 (技 術 分 野) －			○			8	89
	C-24		8	21	資 質 ・ 能 力 の 育 成 に 向 け た 授 業 づ く り － 中 学 校 技 術 ・ 家 庭 科 (家 庭 分 野) －			○			8	90
	C-25		5	20	資 質 ・ 能 力 の 育 成 に 向 け た 授 業 づ く り － 高 等 学 校 向 家 庭 科 －				○		8	91
免許 教科外	C-26		5	9	中 学 校 免 許 外 教 科 担 任 研 修 講 座			○			24	92
道徳	C-27		9	16	「主体的・対話的で深い学び」のある道徳科の授業づくり		○	○			30	93
特別 活動	C-28		7	8	学 級 活 動 (1) の 授 業 づ く り		○	○			20	94
	C-29		6	27	魅 力 あ る 学 級 活 動 (3) を 目 指 し て		○	○			20	95
アキ 教育リ	C-30		6	27	キ ャ リ ア 教 育 の 視 点 を 踏 ま え た 授 業 づ く り		○	○			16	96
救急	C-31		5	19	救 急 に 役 立 つ 応 急 手 当	○	○	○	○	○	30	97
情報 教育	C-32		9	4	発達の段階に応じた情報モラル教育の理解と実践	○	○	○	○	○	30	98
	C-33		9	4	生成AIやデジタルツールを活用した授業づくり	○	○	○	○	○	20	99
	C-34		7	25	基 礎 的 な 動 画 編 集 と そ の 活 用	○	○	○	○	○	20	100
	C-35		7	15	論理的思考力を育む小学校プログラミング教育		○			○	20	101
	C-36		7	1	発達の段階に即したプログラミング演習		○	○	○	○	20	102
	C-37	A	8	19	学 校 に お け る I C T 活 用 の 基 礎 (GoogleWorkspace)	○	○	○	○	○	20	103
		B	8	20	学 校 に お け る I C T 活 用 の 基 礎 (Microsoft365)	○	○	○	○	○	20	
	C-38		6	17	高 等 学 校 情 報 科 に お け る 指 導 の 充 実				○	○	20	104
生徒 指導	C-39		5	20	い じ め の 理 解 と 対 応		○	○	○	○	30	105
	C-40		8	7	学 級 ・ 学 校 づ く り に 活 か す 伝 わ る 言 葉 の か け 方		○	○	○	○	30	106
	C-41		7	24	児 童 生 徒 理 解 に 生 か す ア ド ラ ー 心 理 学	○	○	○	○	○	30	107
	C-42		8	20	不 登 校 の 理 解 と 支 援		○	○	○	○	30	108
	C-43		10	24	教 育 相 談 に 生 か す カ ウ ン セ リ ン グ の 技 法		○	○	○	○	30	109
特別 支援 教育	C-44		7	4	主 体 的 ・ 対 話 的 で 深 い 学 び を 実 現 す る 授 業 づ く り － 知的障害のある児童生徒への「教科別の指導」と授業改善－		○	○	○	○	40	110
	C-45		6	13	ア セ ス メ ン ト の 方 法 と 指 導 の 実 際		○	○	○	○	40	111
	C-46		8	22	自 校 に お け る イ ン ク ル ー シ ブ 教 育 の 推 進		○	○	○	○	40	112
	C-47		9	4	発 達 が 気 が か り な 子 ど も と 保 護 者 の 支 援	○	○	○	○	○	80	113

区分	講座番号	期・回	月	日	講 座 名	対象校種					定員	掲載ページ
						幼 保 認	小	中	高	特		
講師等研修C	C-48	I	6	16	小 学 校 講 師 研 修 講 座 C		○				20	114
		II	9	25								
	C-49	I	6	30	中 学 校 講 師 研 修 講 座 C			○			20	115
		II	9	30								
	C-50	I	5	27	高 等 学 校 講 師 等 研 修 講 座 C				○		20	116
		II	9	16								
	C-51	I	5	30	特 別 支 援 学 級 ・ 特 別 支 援 学 校 講 師 等 研 修 講 座 C		○	○		○	20	117
		II	10	2								
	C-52		7	2	養 護 教 諭 (臨 時) 研 修 講 座 C		○	○	○	○	20	118

2 研修講座年間計画

表の見方

- (1) 「A02」、「C15」等は講座番号を示しています。
- (2) () 内の研修講座名は略称で示しています。
- (3) 「Ⅰ」、「Ⅱ」等は一つの研修講座を分割して行うもので、同一の受講者が参加します。
- (4) 太字の研修はオンラインでの実施です。

4月			5月			6月		
日	曜	研修講座	日	曜	研修講座	日	曜	研修講座
1	火		1	木		1	日	
2	水		2	金		2	月	
3	木		3	土	憲法記念日	3	火	
4	金		4	日	みどりの日	4	水	A26・A27(小中・県立、校長)Ⅱ
5	土		5	月	こどもの日	5	木	A26・A27(小中・県立、校長)Ⅱ
6	日		6	火	振替休日	6	金	A13(特、5年)、A16(中、向上)Ⅰ
7	月		7	水	A01B(小、初)Ⅱ	7	土	
8	火		8	木	A32(研究主任)Ⅰ	8	日	
9	水		9	金	A26・A27(小中・県立、校長)Ⅰ C26(免許外)	9	月	
10	木		10	土		10	火	
11	金		11	日		11	水	A03(高、初)Ⅲ、A04(特、初)Ⅲ
12	土		12	月	A41(特学新担任)Ⅰ	12	木	A05A(小、習得)Ⅰ
13	日		13	火		13	金	A19(養、向上)Ⅰ C45(アセスメント)
14	月		14	水	A03(高、初)Ⅱ、A04(特、初)Ⅱ	14	土	
15	火		15	木	A28・A29(小中・県立、教頭)Ⅰ	15	日	
16	水	A01A・A01B(小、初)Ⅰ	16	金	A33・A34(中・高、学年主任)Ⅰ	16	月	C48(小、講師C)Ⅰ
17	木	A42(通級新担当)	17	土		17	火	A05B(小、習得)Ⅰ C38(情報科)
18	金		18	日		18	水	A01A(小、初)Ⅲ、A08(特、習得)Ⅰ
19	土		19	月	C31(応急手当)	19	木	A12(高、5年)Ⅰ
20	日		20	火	A35-37(小・中・高、生徒指導)Ⅰ C25(高、家庭)、C39(いじめ)	20	金	A17(高、向上)Ⅰ C19(図工)、C22(ダンス)
21	月		21	水		21	土	
22	火		22	木		22	日	
23	水	A02-A04(中・高・特、初)Ⅰ	23	金		23	月	
24	木		24	土		24	火	A20-24(小・中・高・特・養、中堅)Ⅰ
25	金	A43-A47(小・中・高・特・養、講師A)	25	日		25	水	A01B(小、初)Ⅲ
26	土		26	月	A07(高、習得)Ⅰ	26	木	C11(中、理) C15(話す書く、英語)
27	日		27	火	A31(県立、教務)Ⅰ C50(高校、講師C)Ⅰ	27	金	A33・A34(中・高、学年主任)Ⅱ C08(中、数学)、C29(学活(3)) C30(キャリア)
28	月		28	水	A02(中、初)Ⅱ	28	土	
29	火	昭和の日	29	木	A06(中、習得)Ⅰ	29	日	
30	水	A01A(小、初)Ⅱ	30	金	A30(小中、教務)Ⅰ C51(特、講師)Ⅰ	30	月	C49(中、講師C)Ⅰ
			31	土				

7月			8月			9月			10月		
日	曜	研修講座	日	曜	研修講座	日	曜	研修講座	日	曜	研修講座
1	火	A10(小、5年)Ⅰ C36(プログラミング)	1	金	A20(小、中堅)Ⅱ C01(書く力)	1	月		1	水	A02(中、初)Ⅶ
2	水	A39・A40(小中・高、道徳) C52(臨時養教C)	2	土		2	火		2	木	C20(美術)、C51(特、講師C)Ⅱ
3	木	A11(中、5年)Ⅰ	3	日		3	水	A01A(小、初)Ⅵ、A04(特、初)Ⅴ	3	金	A15(小、向上)Ⅱ A41(特学新担任：県央)Ⅱ
4	金	C02(読む力)、C16AB(JTE) C18(造形)、C44(知的教科)	4	月	A01A(小、初)Ⅴ、A02(中、初)Ⅴ A25(発展)	4	木	C32(情報モラル)、C33(生成AI) C47(気がり)	4	土	
5	土		5	火	A22(高、中堅)Ⅱ C04(小、社会)	5	金	C03(話す力・聞く力)、C13(生活)	5	日	
6	日		6	水	A01B(小、初)Ⅴ、A03(高、初)Ⅴ C05(中、社会)	6	土		6	月	
7	月	A15(小、向上)Ⅰ	7	木	A05B(小、習得)Ⅱ C40(学級・学校づくり)	7	日		7	火	A10(小、5年)Ⅱ
8	火	A18(特、向上)Ⅰ、A38(中、進路) C28(学活1)	8	金		8	月		8	水	A01A(小、初)Ⅶ、A04(特、初)Ⅶ
9	水	A02(中、初)Ⅲ	9	土		9	火	A20(小、中堅)Ⅲ・A24(小養、中堅)Ⅱ	9	木	
10	木	A09(養、習得)Ⅰ、A23(特、中堅)Ⅱ	10	日		10	水	A01B(小、初)Ⅵ	10	金	
11	金		11	月	山の日	11	木	A21(中、中堅)Ⅲ・A24(中養、中堅)Ⅱ	11	土	
12	土		12	火		12	金	A12(高、5年)Ⅱ	12	日	
13	日		13	水		13	土		13	月	スポーツの日
14	月		14	木		14	日		14	火	
15	火	C35(小、プログラミング)	15	金		15	月	敬老の日	15	水	
16	水		16	土		16	火	C27(道徳)、C50(高、講師C)Ⅱ	16	木	
17	木		17	日		17	水	A03(高、初)Ⅶ	17	金	
18	金		18	月		18	木	A22(高、中堅)Ⅲ・A24(高養、中堅)Ⅱ	18	土	
19	土		19	火	C17(音楽)、C37A(ICT、Google)	19	金	A07(高、習得)Ⅱ	19	日	
20	日		20	水	A06(中、習得)Ⅱ C37B(ICT、Microsoft) C42(不登校)	20	土		20	月	A35-37(小・中・高、生徒指導)Ⅱ
21	月	海の日	21	木	C24(中、家庭)	21	日		21	火	A20-23(小・中・高・特、中堅)Ⅳ・ A24(養、中堅)Ⅲ
22	火		22	金	C46(インクルーシブ)	22	月		22	水	A01B(小、初)Ⅶ、A14(養、5年)
23	水	A17(高、向上)Ⅱ	23	土		23	火	秋分の日	23	木	A30・A31(小中・県立、教務)Ⅱ
24	木	C41(アドラー)	24	日		24	水	A04(特、初)Ⅵ、A09(養、習得)Ⅱ	24	金	C43(教育相談)
25	金	C12(高、理科) C14(小、外国語) C34(動画編集)	25	月		25	木	A23(特、中堅)Ⅲ C06(高、地歴公)、C48(小、講師C)Ⅱ	25	土	
26	土		26	火		26	金	A41(特学新担任：県南)Ⅱ C09(高、数学)、C21(動き)	26	日	
27	日		27	水	A02・A03(中・高、初)Ⅵ	27	土		27	月	
28	月	A21(中、中堅)Ⅱ	28	木	A16(中、向上)Ⅱ A41(特学新担任：県北)Ⅱ	28	日		28	火	A11(中、5年)Ⅱ
29	火	A01A・A01B(小、初)Ⅳ	29	金		29	月	A32(研究主任)Ⅱ	29	水	A03(高、初)Ⅸ
30	水	A05A(小、習得)Ⅱ A28・A29(小中・県立、教頭)Ⅱ	30	土		30	火	C49(中、講師C)Ⅱ	30	木	C23(中、技術)
31	木	A02-A04(中・高・特、初)Ⅳ C07(小、算数)、C10(小、理科)	31	日					31	金	

11月			12月			1月			2月		
日	曜	研修講座	日	曜	研修講座	日	曜	研修講座	日	曜	研修講座
1	土		1	月		1	木	元日	1	日	
2	日		2	火		2	金		2	月	
3	月	文化の日	3	水		3	土		3	火	
4	火		4	木		4	日		4	水	
5	水	A01A(小、初)Ⅷ	5	金		5	月		5	木	
6	木	A13(特、5年)Ⅱ	6	土		6	火	A03(高、初)Ⅹ	6	金	第40回秋田県教育研究発表会
7	金		7	日		7	水	A04(特、初)Ⅷ	7	土	
8	土		8	月		8	木	A01A・A01B・A02(小・中、初)Ⅹ	8	日	
9	日		9	火		9	金		9	月	
10	月		10	水		10	土		10	火	
11	火	A08・A18(特、習得・向上)Ⅱ	11	木		11	日		11	水	建国記念の日
12	水	A02(中、初)Ⅷ	12	金		12	月	成人の日	12	木	
13	木		13	土		13	火		13	金	
14	金		14	日		14	水		14	土	
15	土		15	月		15	木		15	日	
16	日		16	火		16	金		16	月	
17	月		17	水		17	土		17	火	
18	火		18	木		18	日		18	水	
19	水	A01B(小、初)Ⅷ	19	金		19	月		19	木	
20	木		20	土		20	火		20	金	
21	金		21	日		21	水		21	土	
22	土		22	月		22	木		22	日	
23	日	勤労感謝の日	23	火		23	金		23	月	天皇誕生日
24	月	振替休日	24	水		24	土		24	火	
25	火		25	木		25	日		25	水	
26	水		26	金		26	月		26	木	
27	木		27	土		27	火		27	金	
28	金		28	日		28	水		28	土	
29	土		29	月		29	木				
30	日		30	火		30	金				
			31	水		31	土				

Ⅲ センター研修講座の実施要項

1 基本研修講座（A講座）

○該当者全員が受講する研修講座です。

※以下、対象の「小学校」には義務教育学校の前期課程を、
「中学校」には義務教育学校の後期課程、県立高等学校
中等部をそれぞれ含みます。

年次別研修

- ◇初任者研修
- ◇実践的指導力習得研修（採用2年目）
- ◇教職5年目研修（採用5年目）
- ◇実践的指導力向上研修（採用8年目）
- ◇中堅教諭等資質向上研修（在職期間10年）
- ◇実践的指導力発展研修

職種・職務別研修

- ◇新任校長研修
- ◇新任教頭研修
- ◇新任教務主任研修
- ◇新任研究主任研修
- ◇新任学年主任研修
- ◇新任生徒指導主事研修
- ◇新任進路指導主事研修
- ◇新任道德教育推進教師研修
- ◇特別支援学級新担任研修
- ◇通級指導教室新担当者研修
- ◇講師等研修

A-1A		初任者研修講座(小学校A)		
研 修 の 目 標		対 象		
教員としての心構えを身に付けるとともに、学習指導や学級経営、生徒指導等についての基礎的・基本的な指導力を養う。		今年度、小学校に新規に採用され、初任者研修Aグループに所属する教諭		
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
I	4/16 (水) 10:00～16:15	【開講式】 初任者への期待 (A-1Bと合同) ○教育公務員の服務(講義:A-1Bと合同) ○学校組織の一員として①ー組織原則の理解ー(講義・演習:A-1Bと合同) ○授業づくりの基本(講義・演習:A-1Bと合同) ○生き生きとした学級経営(講義・演習:A-1Bと合同)	1S 1S 1S	基礎的素養 マネジメント能力③ 教科等指導力①③ マネジメント能力①②
II	4/30 (水) 10:00～16:15	○教科における基本的な指導技術と授業展開① 【国語】 (講義・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開② 【算数】 (講義・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開③ 【外国語活動・外国語】 (講義・演習)	1S 1S 1S	教科等指導力①②④ 教科等指導力①②④ 教科等指導力①②④
III	6/18 (水) 10:00～16:15	○教科における基本的な指導技術と授業展開④ 【社会】 (講義・演習) ○総合的な学習の時間の充実(講義・演習) ○命を守る水泳指導(講義・実技)	1S 1S 1S	教科等指導力①②④ 教科等指導力①②④ マネジメント能力④ 教科等指導力①④
IV	7/29 (火) 10:00～16:15	○安全教育と応急手当(講義:A-1Bと合同) 秋田大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座 助教 佐藤 佳澄 ○教員のメンタルヘルス(講義:A-1Bと合同) ○他者と共によりよく生きる力を育てる道徳教育 (講義・演習:A-1Bと合同) ○学校における教育相談(講義・演習:A-1Bと合同)	1S 1S 1S 1S	マネジメント能力④ マネジメント能力 教科等指導力①② 生徒指導力①
V	8/4 (月) 10:00～16:15	○教科における基本的な指導技術と授業展開⑤ 【理科】 (講義・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開⑥ 【図画工作】 (講義・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開⑦ 【家庭】 (講義・演習)	1S 1S 1S	教科等指導力①②④ 教科等指導力①②④ 教科等指導力①②④
VI	9/3 (水) 10:00～16:15	○いじめ等の問題行動や不登校の理解(講義・演習) ○主体的な児童を育てる特別活動(講義・演習) ○特別な支援を要する児童生徒の理解と支援① (講義・演習)	1S 1S 1S	生徒指導力①② 教科等指導力①② 生徒指導力①④ 教科等指導力④

期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
Ⅶ	10／8 (水) 10:00～16:15	○教科における基本的な指導技術と授業展開⑧ 【生活】(講義・演習)	1S	教科等指導力①②④
		○教科における基本的な指導技術と授業展開⑨ 【音楽】(講義・演習)	1S	教科等指導力①②④
		○教科における基本的な指導技術と授業展開⑩ 【体育】(講義・演習)	1S	教科等指導力①②④
Ⅷ	11／5 (水) 10:00～16:15	○特別な支援を要する児童生徒の理解と支援② (授業参観)	1S	マネジメント能力⑥ 生徒指導力①④
		○授業で育むプログラミング的思考(講義・演習)	1S	教科等指導力①②
		○いじめや不登校への具体的な対応(講義・演習)	1S	生徒指導力①②
Ⅸ	1／8 (木) 10:00～16:15 [オンライン実施]	○授業で取り組む情報教育 (講義・演習:A-1B、A-2と合同)	1S	教科等指導力①
		○キャリア教育の充実 (講義・演習:A-1B、A-2と合同)	1S	教育課題への対応①
		○学校組織の一員として②ー目標管理ー (講義・演習:A-1B、A-2と合同) 【閉講式】 初任者研修を終えるに当たって (A-1B、A-2と合同)	1S	マネジメント能力②③
携 行 品		全期：「実践的指導力習得期における研修の手引（令和7年度初任者用）」 ※当センターウェブサイトからダウンロードし、紙媒体又はデータを 保存した端末等を持参 Ⅰ期：「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 ：学級開き・授業開きに使った資料又は教材・教具 (資料は6部、A4判、学校名・氏名を入れる) Ⅱ期：「小学校学習指導要領解説」国語編、算数編、外国語活動・外国語編 (平成29年、文部科学省) Ⅲ期：「小学校学習指導要領解説」社会編、総合的な学習の時間編 (平成29年、文部科学省) ：水泳用具一式 Ⅳ期：「小学校学習指導要領解説」特別の教科 道徳編 (平成29年、文部科学省) Ⅴ期：「小学校学習指導要領解説」理科編、図画工作編、家庭編 (平成29年、文部科学省) Ⅵ期：「小学校学習指導要領解説」特別活動編 (平成29年、文部科学省) Ⅶ期：「小学校学習指導要領解説」生活編、音楽編、体育編 (平成29年、文部科学省) Ⅷ期：屋内用シューズ Ⅸ期：「学校要覧」等自校の教育計画		
備 考		Ⅲ期：センターに集合せず、県立プールで実施する。 Ⅷ期：県立支援学校天王みどり学園で授業参観を行う。 Ⅸ期：センターに集合せず、オンラインにより実施する。		

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-1B		初任者研修講座(小学校B)		
研 修 の 目 標			対 象	
教員としての心構えを身に付けるとともに、学習指導や学級経営、生徒指導等についての基礎的・基本的な指導力を養う。			今年度、小学校に新規に採用され、初任者研修Bグループに所属する教諭	
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
I	4/16 (水) 10:00～16:15	【開講式】初任者への期待(A-1Aと合同) ○教育公務員の服務(講義:A-1Aと合同) ○学校組織の一員として①ー組織原則の理解ー(講義・演習:A-1Aと合同) ○授業づくりの基本(講義・演習:A-1Aと合同) ○生き生きとした学級経営(講義・演習:A-1Aと合同)	1S	基礎的素養 マネジメント能力③
II	5/7 (水) 10:00～16:15	○教科における基本的な指導技術と授業展開①【国語】(講義・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開②【算数】(講義・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開③【外国語活動・外国語】(講義・演習)	1S 1S 1S	教科等指導力①②④ 教科等指導力①②④ 教科等指導力①②④
III	6/25 (水) 10:00～16:15	○教科における基本的な指導技術と授業展開④【社会】(講義・演習) ○総合的な学習の時間の充実(講義・演習) ○命を守る水泳指導(講義・実技)	1S 1S 1S	教科等指導力①②④ 教科等指導力①②④ マネジメント能力④ 教科等指導力①④
IV	7/29 (火) 10:00～16:15	○安全教育と応急手当(講義:A-1Aと合同) 秋田大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座 助教 佐藤 佳澄 ○教員のメンタルヘルス(講義:A-1Aと合同) ○他者と共によりよく生きる力を育てる道徳教育(講義・演習:A-1Aと合同) ○学校における教育相談(講義・演習:A-1Aと合同)	1S 1S 1S 1S	マネジメント能力④ マネジメント能力 教科等指導力①② 生徒指導力①
V	8/6 (水) 10:00～16:15	○教科における基本的な指導技術と授業展開⑤【理科】(講義・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開⑥【図画工作】(講義・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開⑦【家庭】(講義・演習)	1S 1S 1S	教科等指導力①②④ 教科等指導力①②④ 教科等指導力①②④
VI	9/10 (水) 10:00～16:15	○いじめ等の問題行動や不登校の理解(講義・演習) ○主体的な児童を育てる特別活動(講義・演習) ○特別な支援を要する児童生徒の理解と支援①(講義・演習)	1S 1S 1S	生徒指導力①② 教科等指導力①② 生徒指導力①④ 教科等指導力④

期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
Ⅶ	10／22 (水) 10:00～16:15	○教科における基本的な指導技術と授業展開⑧ 【生活】(講義・演習)	1S	教科等指導力①②④
		○教科における基本的な指導技術と授業展開⑨ 【音楽】(講義・演習)	1S	教科等指導力①②④
		○教科における基本的な指導技術と授業展開⑩ 【体育】(講義・演習)	1S	教科等指導力①②④
Ⅷ	11／19 (水) 10:00～16:15	○特別な支援を要する児童生徒の理解と支援② (授業参観)	1S	マネジメント能力⑥ 生徒指導力①④
		○授業で育むプログラミング的思考(講義・演習)	1S	教科等指導力①②
		○いじめや不登校への具体的な対応(講義・演習)	1S	生徒指導力①②
Ⅸ	1／8 (木) 10:00～16:15 [オンライン実施]	○授業で取り組む情報教育 (講義・演習:A-1A、A-2と合同)	1S	教科等指導力①②
		○キャリア教育の充実 (講義・演習:A-1A、A-2と合同)	1S	教育課題への対応①
		○学校組織の一員として②ー目標管理ー (講義・演習:A-1A、A-2と合同)	1S	マネジメント能力②③
		【閉講式】 初任者研修を終えるに当たって (A-1A、A-2と合同)		
携 行 品		全期：「実践的指導力習得期における研修の手引（令和7年度初任者用）」 ※当センターウェブサイトからダウンロードし、紙媒体又はデータを 保存した端末等を持参 Ⅰ期：「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 ：学級開き・授業開きに使った資料又は教材・教具 (資料は6部、A4判、学校名・氏名を入れる) Ⅱ期：「小学校学習指導要領解説」国語編、算数編、外国語活動・外国語編 (平成29年、文部科学省) Ⅲ期：「小学校学習指導要領解説」社会編、総合的な学習の時間編 (平成29年、文部科学省) ：水泳用具一式 Ⅳ期：「小学校学習指導要領解説」特別の教科 道徳編 (平成29年、文部科学省) Ⅴ期：「小学校学習指導要領解説」理科編、図画工作編、家庭編 (平成29年、文部科学省) Ⅵ期：「小学校学習指導要領解説」特別活動編 (平成29年、文部科学省) Ⅶ期：「小学校学習指導要領解説」生活編、音楽編、体育編 (平成29年、文部科学省) Ⅷ期：屋内用シューズ Ⅸ期：「学校要覧」等自校の教育計画		
備 考		Ⅲ期：センターに集合せず、県立プールで実施する。 Ⅷ期：県立支援学校天王みどり学園で授業参観を行う。 Ⅸ期：センターに集合せず、オンラインにより実施する。		

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-2		初任者研修講座(中学校)		
研 修 の 目 標			対 象	
教員としての心構えを身に付けるとともに、学習指導や学級経営、生徒指導等についての基礎的・基本的な指導力を養う。			今年度、中学校に新規に採用された教諭	
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
I	4 / 23 (水) 10:00～16:15	【開講式】初任者への期待(A-3、A-4と合同) ○教育公務員の服務(講義) ○学校組織の一員として①ー組織原則の理解ー(講義・演習) ○授業づくりの基本(講義・演習) ○生き生きとした学級経営(講義・演習)	1S	基礎的素養 マネジメント能力③
II	5 / 28 (水) 10:00～16:15	○学習指導要領の要点(講義・演習) ○教科指導計画の作成(講義・演習)	1S	教科等指導力①④
III	7 / 9 (水) 10:00～16:15	○教科における基本的な指導技術と授業展開 ①(講義・協議・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開 ②(講義・協議・演習)	1S	教科等指導力②④
IV	7 / 31 (木) 10:00～16:15	○安全教育と応急手当(講義:A-3、A-4と合同) 秋田大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座 助教 佐藤 佳澄 ○教員のメンタルヘルス(講義:A-3、A-4と合同) ○特別な支援を要する児童生徒の理解と支援①(講義・演習) ○他者と共によりよく生きる力を育てる道德教育(講義・演習)	1S	マネジメント能力④
V	8 / 4 (月) 10:00～16:15	○学校における教育相談(講義・演習) ○いじめ等の問題行動や不登校の理解(講義・演習) ○主体的な生徒を育てる特別活動(講義・演習)	1S	生徒指導力①
VI	8 / 27 (水) 10:00～16:15	○高等学校との関連を踏まえた授業づくり(講義・協議:A-3と合同)	1S	生徒指導力①② 教科等指導力④
VII	10 / 1 (水) 10:00～16:15	○教科における基本的な指導技術と授業展開③(講義・協議・演習)	1S	教科等指導力①② 教科等指導力②④

期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
Ⅷ	11／12 (水) 10:00～16:15	○特別な支援を要する児童生徒の理解と支援② (授業参観)	1S	マネジメント能力⑥ 生徒指導力①④
		○総合的な学習の時間の充実(講義・演習)	1S	教科等指導力①②④
		○いじめや不登校への具体的な対応(講義・演習)	1S	生徒指導力①②
Ⅸ	1／8 (木) 10:00～16:15 [オンライン実施]	○授業で取り組む情報教育 (講義・演習:A-1A、A-1Bと合同)	1S	教科等指導力①
		○キャリア教育の充実 (講義・演習:A-1A、A-1Bと合同)	1S	教育課題への対応①
		○学校組織の一員として②ー目標管理ー (講義・演習:A-1A、A-1Bと合同)	1S	マネジメント能力②③
		【閉講式】 初任者研修を終えるに当たって (A-1A、A-1Bと合同)		
携 行 品		全期：「実践的指導力習得期における研修の手引（令和7年度初任者用）」 ※当センターウェブサイトからダウンロードし、紙媒体又はデータを保存した端末等を持参 Ⅰ期：「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 ：学級開き・授業開きに使った資料又は教材・教具 (資料は6部、A4判、学校名・氏名を入れる) Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅵ期、Ⅶ期 ：担当教科の「中学校学習指導要領解説」（平成29年、文部科学省） ：担当教科の「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」 (令和2年、文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター) Ⅳ期：「中学校学習指導要領解説」特別の教科 道徳編 (平成29年、文部科学省) Ⅴ期：「中学校学習指導要領解説」特別活動編(平成29年、文部科学省) Ⅷ期：「中学校学習指導要領解説」総合的な学習の時間編 (平成29年、文部科学省) ：屋内用シューズ Ⅸ期：「学校要覧」等自校の教育計画		
備 考		Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅵ期、Ⅶ期 ：担当教科ごとに受講する。各期の研修内容は、受講者数に応じて教科ごとに異なる。詳細についてはⅡ期の際に連絡する。 Ⅷ期：県立支援学校天王みどり学園で授業参観を行う。 Ⅸ期：センターに集合せず、オンラインにより実施する。		

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-3		初任者研修講座(高等学校)		
研 修 の 目 標		対 象		
教員としての心構えを身に付けるとともに、学習指導やホームルーム経営、生徒指導等についての基礎的・基本的な指導力を養う。		今年度、高等学校に新規に採用された教諭		
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
I	4/23 (水) 10:00～16:15	【開講式】初任者への期待(A-2、A-4と合同) ○教育公務員の服務(講義) ○学校組織の一員として①ー組織原則の理解ー(講義・演習) ○授業づくりの基本(講義・演習) ○授業で取り組む情報教育①(講義・演習)	1S 1S 1S	基礎的素養 マネジメント能力③ 教科等指導力①② 教科等指導力①
II	5/14 (水) 10:00～16:15	○学習指導要領の要点(講義・協議) ○学習指導要領に基づく教科指導(講義・協議・演習) ○単元(題材)構想の具体(講義・協議・演習)	1S 1S 1S	教科等指導力①④ 教科等指導力①④ 教科等指導力①④
III	6/11 (水) 10:00～16:15	○学習指導案作成の基本(講義・演習) ○教科における学習評価の基本(講義・協議・演習) ○いじめ等の問題行動や不登校の理解(講義・演習)	1S 1S 1S	教科等指導力① 教科等指導力①②④ 生徒指導力①②
IV	7/31 (木) 10:00～16:15	○安全教育と応急手当(講義:A-2、A-4と合同) 秋田大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座 助教 佐藤 佳澄 ○教員のメンタルヘルス(講義:A-2、A-4と合同) ○他者と共によりよく生きる力を育てる道德教育(講義・演習) ○授業で取り組む情報教育②(講義・演習)	1S 1S 1S 1S	マネジメント能力④ マネジメント能力 教科等指導力① 教科等指導力①
V	8/6 (水) 10:00～16:15	○キャリア教育の充実(講義・演習) ○いじめや不登校への具体的な対応(講義・演習) ○総合的な探究の時間の充実(講義・演習)	1S 1S 1S	教育課題への対応① 生徒指導力①② 教科等指導力①②④
VI	8/27 (水) 10:00～16:15	○中学校との関連を踏まえた授業づくり(講義・協議:A-2と合同)	1S	教科等指導力②③④
VII	9/17 (水) 10:00～16:15	○「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくり①(講義・協議・演習)	1S	教科等指導力①②④

期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
VIII	実施日は 後日決定	○授業実践研修(授業実践・参観及び協議)	1S	教科等指導力③
IX	10／29 (水) 10:00～16:15	○特別な支援を要する児童生徒の理解と支援① (授業参観)	1S	マネジメント能力⑥ 生徒指導力①④
		○特別な支援を要する児童生徒の理解と支援② (講義・演習)	1S	生徒指導力①④ 教科等指導力④
		○「主体的・対話的で深い学び」の視点からの 授業づくり②(講義・協議)	1S	教科等指導力②③
X	1／6 (火) 10:00～16:15 [オンライン実施]	○学校における教育相談(講義・演習)	1S	生徒指導力①
		○特別活動の理解とホームルーム経営 (講義・演習)	1S	教科等指導力①②
		○学校組織の一員として②ー目標管理ー (講義・演習)	1S	マネジメント能力②③
		【閉講式】 初任者研修を終えるに当たって		
携 行 品		全期：「実践的指導力習得期における研修の手引（令和7年度初任者用）」 ※当センターウェブサイトからダウンロードし、紙媒体又はデータを保存した 端末等を持参 Ⅰ期：「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 Ⅱ期：担当教科の年間指導計画（今年度担当している科目分全て） Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅵ期、Ⅶ期、Ⅷ期、Ⅸ期 ：担当教科の「高等学校学習指導要領解説」（平成30年、文部科学省） Ⅲ期：担当教科の「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」 （令和3年、文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター） Ⅳ期：自校の「道德教育全体計画」 2部 Ⅴ期：自校の「キャリア教育全体計画」 6部 Ⅸ期：屋内用シューズ Ⅹ期：「学校要覧」等自校の教育計画 「高等学校学習指導要領解説」特別活動編（平成30年、文部科学省）		
備 考		Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅵ期、Ⅶ期、Ⅷ期、Ⅸ期 ：教科に係る研修は担当教科ごとに受講する。各期の教科に係る研修内容は、 受講者数に応じて教科ごとに異なる。詳細についてはⅡ期の際に連絡する。 Ⅷ期：所属校での授業実践・参観及び協議を行う。なお、実施日の決め方につい てはⅡ期の際に教科ごとに連絡する。 Ⅸ期：県立支援学校天王みどり学園で授業参観を行う。 Ⅹ期：センターに集合せず、オンラインにより実施する。		

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-4		初任者研修講座(特別支援学校)		
研 修 の 目 標			対 象	
教員としての心構えを身に付けるとともに、学習指導や学級経営、生徒指導等についての基礎的・基本的な指導力を養う。			今年度、特別支援学校に新規に採用された教諭	
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
I	4 / 23 (水) 10:00～16:15	【開講式】初任者への期待(A-2、A-3と合同) ○教育公務員の服務(講義) ○学校組織の一員として①一組織原則の理解―(講義・演習) ○特別支援学校における授業づくり①(講義・演習) ○特別支援学校における授業づくり②(講義・演習)	1S	基礎的素養 マネジメント能力③
			1S	マネジメント能力①②⑥ 教育課題への対応④
			1S	生徒指導力①④ 教科等指導力①④
II	5 / 14 (水) 10:00～16:15	○特別支援学校における授業づくり③(講義・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開①【国語】(講義・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開②【算数】(講義・演習)	1S	生徒指導力①④ 教科等指導力①④
			1S	教科等指導力①②④
			1S	教科等指導力①②④
III	6 / 11 (水) 10:00～16:15	○命を守る水泳指導(講義・実技) ○キャリア教育の充実(講義・演習) ○学校における教育相談(講義・演習)	1S	マネジメント能力④ 教科等指導力①④
			1S	教育課題への対応①
			1S	生徒指導力①
IV	7 / 31 (木) 10:00～16:15	○安全教育と応急手当(講義:A-2、A-3と合同) 秋田大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学講座 助教 佐藤 佳澄 ○教員のメンタルヘルス(講義:A-2、A-3と合同) ○いじめ等の問題行動や不登校の理解(講義・演習)	1S	マネジメント能力④
			1S	マネジメント能力
			1S	生徒指導力①②
V	9 / 3 (水) 10:00～16:15	○教科における基本的な指導技術と授業展開③【体育】(講義・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開④【図画工作】(講義・演習)	1S	教科等指導力①②④
			1S	教科等指導力①②④
VI	9 / 24 (水) 10:00～16:15	○教科における基本的な指導技術と授業展開⑤【音楽】(講義・演習) ○教科における基本的な指導技術と授業展開⑥【外国語活動・外国語】(講義・演習) ○授業で取り組む情報教育(講義・演習)	1S	教科等指導力①②④
			1S	教科等指導力①②④
			1S	教科等指導力①

期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
Ⅶ	10／8 (水) 10:00～16:15	○特別支援学校における授業づくり④(講義・演習)	1S	教科等指導力①②
		○授業分析と授業改善(協議)	1S	教科等指導力①②③④
Ⅷ	1／7 (水) 10:00～16:15 [オンライン実施]	○主体的な児童生徒を育てる特別活動(講義・演習)	1S	教科等指導力①②
		○他者と共によりよく生きる力を育てる道徳教育 (講義・演習)	1S	教科等指導力①②
		○学校組織の一員として②－目標管理－(講義・演習)	1S	マネジメント能力②③
		【閉講式】 初任者研修を終えるに当たって		
携 行 品		全期：「実践的指導力習得期における研修の手引（令和7年度初任者用）」 ※当センターウェブサイトからダウンロードし、紙媒体又はデータを保存した端末等を持参		
		Ⅰ期：「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 ：「特別支援教育のミニマムスタンダード」（当センターウェブサイトから各自ダウンロード） Ⅱ期：「特別支援学校学習指導要領解説」各教科編（小学部・中学部） （平成30年、文部科学省） ：「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説」自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）（平成30年、文部科学省） ：「小学校学習指導要領解説」国語編、算数編（平成29年、文部科学省） Ⅲ期：水泳用具一式、自校のキャリア教育全体計画（今年度のものが作成中であれば、前年度のものでも可） Ⅴ期：「小学校学習指導要領解説」体育編、図画工作編（平成29年、文部科学省） ：運動着等動きやすい服装、屋内用シューズ Ⅵ期：「小学校学習指導要領解説」音楽編、外国語活動・外国語編（平成29年、文部科学省） Ⅶ期：「特別支援教育のミニマムスタンダード」 ：提示授業に関わる次の①～③のもの ①学習指導案（正案：事前提出） ②授業の録画映像（DVカメラ、タブレット、スマートフォン等、TVに接続再生可能な機器とTV接続に必要なアダプタやケーブル等も持参すること） ③教科書、資料、教材・教具等（必要に応じて） Ⅷ期：「小学校学習指導要領解説」特別活動編、特別の教科 道徳編（平成29年、文部科学省） ：自校の道徳教育全体計画 ：「学校要覧」等自校の教育計画		
備 考		Ⅲ期：センターに集合せず、県立プールで実施する。 Ⅷ期：センターに集合せず、オンラインにより実施する。		

連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

A-5A		実践的指導力習得研修講座(小学校2年目A)			
研 修 の 目 標			対 象		
学校教育目標に基づいた教育活動への意識を高め、学習指導や学級経営、生徒指導等についての実践的指導力を身に付ける。			- 採用されて2年目で、昨年度の初任者研修Aグループに所属した小学校教諭 - 過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
I	6/12 (木) 10:00~16:15	○保護者対応と連携(講義・演習) ○学校組織の一員として ー学校教育目標と学級経営ー(講義・演習) ○授業づくりの充実に向けて①(講義・演習)		1S	生徒指導力③
				1S	マネジメント能力②
				1S	教科等指導力①②④
II	7/30 (水) 10:00~16:15	○授業づくりの充実に向けて②(演習・協議)		1S	教科等指導力③④
携 行 品		全期：受講教科の「小学校学習指導要領解説」(平成29年、文部科学省) I期：「学校要覧」等自校の教育計画、学級経営案 ：自校で使用している受講教科の教科書 II期：模擬授業に関わる教科書、資料、教材・教具等(必要に応じて)			
備 考		I期：「授業づくりの充実に向けて」の受講教科希望調査については、5月上旬に担当から受講者に連絡する。 II期：模擬授業を行う。詳細については、受講教科決定後、担当から受講者に連絡する。なお、学習指導案の提出期限は7月23日(水)を予定している。			

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-5B		実践的指導力習得研修講座(小学校2年目B)			
研 修 の 目 標			対 象		
学校教育目標に基づいた教育活動への意識を高め、学習指導や学級経営、生徒指導等についての実践的指導力を身に付ける。			- 採用されて2年目で、昨年度の初任者研修Bグループに所属した、又はA、Bのどちらのグループにも所属しなかった小学校教諭 - 過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
I	6/17 (火) 10:00~16:15	○保護者対応と連携(講義・演習) ○学校組織の一員として ー学校教育目標と学級経営ー(講義・演習) ○授業づくりの充実に向けて①(講義・演習)		1S	生徒指導力③
				1S	マネジメント能力②
				1S	教科等指導力①②④
II	8/7 (木) 10:00~16:15	○授業づくりの充実に向けて②(演習・協議)		1S	教科等指導力③④
携 行 品		全期：受講教科の「小学校学習指導要領解説」（平成29年、文部科学省） I期：「学校要覧」等自校の教育計画、学級経営案 ：自校で使用している受講教科の教科書 II期：模擬授業に関わる教科書、資料、教材・教具等（必要に応じて）			
備 考		I期：「授業づくりの充実に向けて」の受講教科希望調査については、5月上旬に担当から受講者に連絡する。 II期：模擬授業を行う。詳細については、受講教科決定後、担当から受講者に連絡する。なお、学習指導案の提出期限は7月31日（木）を予定している。			

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-6		実践的指導力習得研修講座(中学校2年目)			
研 修 の 目 標			対 象		
学校教育目標に基づいた教育活動への意識を高め、学習指導や学級経営、生徒指導等についての実践的指導力を身に付ける。			・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて2年目で、今年度中学校に所属する教諭 ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
I	5/29 (木) 10:00~16:15	○保護者対応と連携(講義・演習) ○学校組織の一員として ―学校教育目標と学級経営―(講義・演習) ○授業づくりの充実に向けて①(講義・演習)		1S	生徒指導力③
				1S	マネジメント能力②
				1S	教科等指導力①②④
II	8/20 (水) 10:00~16:15	○授業づくりの充実に向けて②(演習・協議)		1S	教科等指導力③④
携 行 品		全期：担当教科の「中学校学習指導要領解説」(平成29年、文部科学省) I期：「学校要覧」等自校の教育計画、学級経営案 ：自校で使用している担当教科の教科書 II期：録画した授業に関わる教科書、資料、教材・教具等(必要に応じて)			
備 考		II期：学習指導案、授業を録画したDVDを8月7日(木)までに当センターへ送付する。詳細については、5月上旬に、担当から受講者に連絡する。			

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-7		実践的指導力習得研修講座(高等学校2年目)			
研 修 の 目 標			対 象		
学校教育目標に基づいた教育活動への意識を高め、学習指導やホームルーム経営、生徒指導等についての実践的指導力を身に付ける。			・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて2年目で、今年度高等学校に所属する教諭 ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
I	5/26 (月) 10:00~16:15	○保護者対応と連携(講義・演習) ○学校組織の一員として ―学校教育目標とホームルーム経営―(講義・演習) ○授業づくりの充実に向けて①(講義・演習)		1S	生徒指導力③
				1S	マネジメント能力②
				1S	教科等指導力①②④
II	9/19 (金) 10:00~16:15	○授業づくりの充実に向けて②(演習・協議)		1S	教科等指導力③④
携 行 品		全期：担当教科の「高等学校学習指導要領解説」(平成30年、文部科学省) I期：「学校要覧」等自校の教育計画 ：今年度授業で使用している教科書 ：担当教科の年間指導計画(任意の1科目) ：年間行事予定表 II期：授業の録画映像(映像データの入ったUSB等、又は、DVカメラ、タブレット等、電子黒板に接続可能な機器) ※DVカメラ、タブレット等で映像データを持参する場合は、電子黒板等との接続に必要なアダプターやケーブル等を持参する。 ：録画した授業の学習指導案8部、説明に必要な資料8部			
備 考		II期：学習指導案を、9月12日(金)までに当センターへ送付する。詳細については、I期の際に担当から受講者に連絡する。			

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-8		実践的指導力習得研修講座(特別支援学校2年目)			
研 修 の 目 標			対 象		
学校教育目標に基づいた教育活動への意識を高め、学習指導や学級経営、生徒指導等についての実践的指導力を身に付ける。			・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて2年目で、今年度特別支援学校に所属する教諭 ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
I	6/18 (水) 10:00~16:15	○保護者対応と連携(講義・演習) ○学校組織の一員として ー学校教育目標と学級経営ー(講義・演習) ○教材研究と教材開発の実際(講義・協議)		1S	生徒指導力③
				1S	マネジメント能力②
				1S	教科等指導力①②④
II	11/11 (火) 10:00~16:15	○授業分析と授業改善(協議:A-18と合同)		1S	教科等指導力①②③④
携 行 品		I 期: 「学校要覧」等自校の教育計画、学級経営案 : 課題レポート(事前提出) : 課題レポートに関わるICTを用いた教材(必要に応じて) II 期: 7~11月に実施した授業に関わる次の①~③のもの ①学習指導案(略案可:事前提出) ②授業の録画映像(DVカメラ、タブレット、スマートフォン等、TVに接続再生可能な機器とTV接続に必要なアダプタやケーブル等も持参する) ③教科書、資料、教材・教具等(必要に応じて) : 課題レポート			
備 考		全期: 課題レポートの様式は、当センターのウェブサイトに掲載するので、各自ダウンロードして使用する。			

連絡先: 支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

研修コード D02-501

A-9		実践的指導力習得研修講座(養護教諭2年目)			
研 修 の 目 標			対 象		
学校教育目標に基づいた教育活動への意識を高め、保健教育や保健管理、健康相談等についての実践的指導力を身に付ける。			・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に採用されて2年目の養護教諭 ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
I	7/10 (木) 10:00~16:15	○学校組織の一員として ー学校教育目標と保健室経営ー(講義・演習) ○保護者対応と連携(講義・演習) ○教員のメンタルヘルス(講義・演習)		1S	マネジメント能力①② 専門的指導力④
				1S	生徒指導力③
				1S	マネジメント能力①
II	9/24 (水) 10:00~16:15	○ICT活用の基本的理解と執務への活用(講義・演習) ○児童生徒理解と人間関係づくり(講義・演習) ○児童虐待への対応(講義・演習)		1S	教育課題への対応⑤
				1S	生徒指導力①②
				1S	生徒指導力①
携 行 品		I 期：自校の保健室経営計画			

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A－10		教職5年目研修講座(小学校)			
研 修 の 目 標			対 象		
学校組織マネジメントの意識を高め、学習指導や学年経営、生徒指導等についての実践的指導力の向上を図る。			・ 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて5年目（他県での教諭経験年数を含む）で、今年度小学校に所属する教諭 ・ 過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
Ⅰ	7／1 (火) 10:00～16:15	○教育相談と人間関係づくり(講義・演習)		2S	生徒指導力①②
		○発達障害のある児童の理解と支援(講義・演習)		2S	生徒指導力①④ 教科等指導力④
		○児童の実態を踏まえた授業改善① (講義・協議・演習)		2S	教科等指導力①②③④
Ⅱ	10／7 (火) 10:00～16:15	○学校組織の一員として－マネジメントの視点－ (講義・演習)		2S	マネジメント能力①
		○児童の実態を踏まえた授業改善② (講義・協議・演習)		2S	教科等指導力①②③④
携 行 品		全期：受講教科の「小学校学習指導要領解説」（平成29年、文部科学省） Ⅱ期：「学校要覧」等自校の教育計画			
備 考		全期：「児童の実態を踏まえた授業改善」の受講教科希望調査については、5月上旬に担当から受講者に連絡する。 Ⅱ期：「児童の実態を踏まえた授業改善②」では、事前に提出されたレポートを基に協議を行う。レポートの様式や内容等の詳細については、Ⅰ期の際に担当から受講者に連絡する。なお、レポートの提出期限は9月30日（火）を予定している。			

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A－11		教職5年目研修講座(中学校)			
研 修 の 目 標			対 象		
学校組織マネジメントの意識を高め、学習指導や学年経営、生徒指導等についての実践的指導力の向上を図る。			・ 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて5年目（他県での教諭経験年数を含む）で、今年度中学校に所属する教諭 ・ 過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
Ⅰ	7 / 3 (木) 10:00～16:15	○教育相談と人間関係づくり(講義・演習)		2S	生徒指導力①②
		○発達障害のある生徒の理解と支援(講義・演習)		2S	生徒指導力①④ 教科等指導力④
		○生徒の実態を踏まえた授業改善① (講義・協議・演習)		2S	教科等指導力①②③④
Ⅱ	10 / 28 (火) 10:00～16:15	○生徒の実態を踏まえた授業改善② (講義・協議・演習)		2S	教科等指導力①②③④
		○学校組織の一員として－マネジメントの視点－ (講義・演習)		2S	マネジメント能力①
携 行 品		全期：担当教科の「中学校学習指導要領解説」（平成29年、文部科学省） Ⅱ期：「学校要覧」等自校の教育計画			
備 考		Ⅰ期：「生徒の実態を踏まえた授業改善①」では、事前に提出されたレポートを基に協議を行う。レポートの内容等については、5月中旬に担当から受講者に連絡する。レポートの様式は、当センターウェブサイトに掲載するので、各自ダウンロードして使用する。なお、レポートの提出期限は6月26日（木）を予定している。 Ⅱ期：「生徒の実態を踏まえた授業改善②」の詳細については、Ⅰ期の際に担当から受講者に連絡する。			

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A－12		教職5年目研修講座(高等学校)			
研 修 の 目 標			対 象		
学校組織マネジメントの意識を高め、学習指導や学年経営、生徒指導等についての実践的指導力の向上を図る。			・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて5年目（他県での教諭経験年数を含む）で、今年度高等学校に所属する教諭 ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
Ⅰ	6／19 (木) 10:00～16:15	○教育相談と人間関係づくり(講義・演習)		2S	生徒指導力①②
		○学校組織の一員として－マネジメントの視点－ (講義・演習)		2S	マネジメント能力①
		○生徒の実態を踏まえた授業改善① (講義・協議・演習)		2S	教科等指導力①②③④
Ⅱ	9／12 (金) 10:00～16:15	○発達障害のある生徒の理解と支援(講義・演習)		2S	生徒指導力①④ 教科等指導力④
		○生徒の実態を踏まえた授業改善② (講義・協議・演習)		2S	教科等指導力①②③④
携 行 品		全期：担当教科の「高等学校学習指導要領解説」（平成30年、文部科学省） 学校教育の指針「令和7年度の重点」 Ⅰ期：「学校要覧」等自校の教育計画			
備 考		Ⅰ期：「生徒の実態を踏まえた授業改善①」では、事前に提出されたレポートを基に協議を行う。レポートの内容等については、5月上旬に担当から受講者に連絡する。レポートの様式は、当センターウェブサイトに掲載するので、各自ダウンロードして使用する。なお、レポートの提出期限は6月12日（木）を予定している。 Ⅱ期：「生徒の実態を踏まえた授業改善②」の詳細については、Ⅰ期の際に担当から受講者に連絡する。			

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-13		教職5年目研修講座(特別支援学校)		
研 修 の 目 標		対 象		
学校組織マネジメントの意識を高め、学習指導や学年経営、生徒指導等についての実践的指導力の向上を図る。		・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて5年目（他県での教諭経験年数を含む）で、今年度特別支援学校に所属する教諭 ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
I	6 / 6 (金) 10:00～16:15	○児童生徒理解と人間関係づくり(講義・演習)	2S	生徒指導力①②④
		○学校組織の一員としてーマネジメントの視点ー(講義・演習)	2S	マネジメント能力①
		○児童生徒の実態を踏まえた授業改善(講義・演習)	2S	教科等指導力①②③④
II	11 / 6 (木) 10:00～16:15	○授業分析と授業改善(協議)	2S	教科等指導力①②③④
携 行 品		I 期：「学校要覧」等自校の教育計画 II 期：9～10月に実施した授業に関わる次の①～③のもの ①学習指導案等（略案可：事前提出） ②授業の録画映像（DVカメラ、タブレット、スマートフォン等、TVに接続再生可能な機器とTV接続に必要なアダプタやケーブル等も持参する） ③教科書、資料、教材・教具等（必要に応じて）		
備 考		II 期：「授業分析と授業改善」の詳細については、I 期の際に連絡する。		

連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

研修コード D05-501

A-14	教職5年目研修講座(養護教諭)		
研 修 の 目 標		対 象	
学校組織マネジメントの意識を高め、保健教育や保健管理、健康相談等についての実践的指導力の向上を図る。		・ 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に採用されて5年目（他県での養護教諭経験年数を含む）の養護教諭 ・ 過年度の該当者で未受講者	
日 時	研 修 内 容		指標における主な項目
10/22 (水) 10:00～16:15	○教師が使える教育相談の技法(講義・演習)		2S 生徒指導力①
	○発達障害のある児童生徒の理解と支援(講義・演習)		2S 生徒指導力①④
	○学校組織の一員としてーマネジメントの視点ー(講義・演習)		2S マネジメント能力①
携 行 品	「学校要覧」等自校の教育計画		

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A－15		実践的指導力向上研修講座(小学校8年目)			
研 修 の 目 標			対 象		
自己理解に基づき、個々の個性・適性、分掌等に応じた資質能力の向上を図る。			・ 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて8年目（他県での教諭経験年数を含む）で、今年度小学校に所属する教諭 ・ 過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
Ⅰ	7 / 7 (月) 10:00～16:15	○いじめや不登校の未然防止と対応(講義・演習)		2S	生徒指導力①②③
		○意欲的な活動を促す特別活動の工夫(講義・演習)		2S	教科等指導力①②
		○学校組織の一員として－自己理解に基づく目標設定－ (講義・演習)		2S	マネジメント能力①②③
Ⅱ	10 / 3 (金) 10:00～16:15	○カリキュラム・マネジメント(講義・演習)		2S	教科等指導力①② マネジメント能力⑤
		○カリキュラム・マネジメントを軸にした授業改善 (講義・協議・演習)		2S	教科等指導力③④
携 行 品		Ⅰ 期：「小学校学習指導要領解説」特別活動編（平成29年、文部科学省） Ⅱ 期：「学校要覧」等、自校のカリキュラム・マネジメントに関わる内容が記されている教育計画			
備 考		Ⅱ 期：詳細については、Ⅰ 期の際に担当から受講者に連絡する。			

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A－16		実践的指導力向上研修講座(中学校8年目)			
研 修 の 目 標			対 象		
自己理解に基づき、個々の個性・適性、分掌等に応じた資質能力の向上を図る。			・ 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて8年目（他県での教諭経験年数を含む）で、今年度中学校に所属する教諭 ・ 過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
Ⅰ	6／6 (金) 10:00～16:15	○いじめや不登校の未然防止と対応(講義・演習)		2S	生徒指導力①②③
		○意欲的な活動を促す特別活動の工夫(講義・演習)		2S	教科等指導力①②
		○学校組織の一員として－自己理解に基づく目標設定－(講義・演習)		2S	マネジメント能力①②③
Ⅱ	8／28 (木) 10:00～16:15	○カリキュラム・マネジメント(講義・演習)		2S	教科等指導力①② マネジメント能力⑤
		○カリキュラム・マネジメントを軸にした授業改善(講義・協議・演習)		2S	教科等指導力③④
携 行 品		Ⅰ 期：「中学校学習指導要領解説」特別活動編（平成29年、文部科学省） Ⅱ 期：担当教科の「中学校学習指導要領解説」（平成29年、文部科学省） ：「学校要覧」等、自校のカリキュラム・マネジメントに関わる内容が記されている教育計画 ：担当教科の単元（題材）計画 ※学年、単元（題材）の指定なし			
備 考		Ⅱ 期：詳細については、Ⅰ 期の際に担当から受講者に連絡する。			

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A－17		実践的指導力向上研修講座(高等学校8年目)		
研 修 の 目 標			対 象	
自己理解に基づき、個々の個性・適性、分掌等に応じた資質能力の向上を図る。			・ 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて8年目（他県での教諭経験年数を含む）で、今年度高等学校に所属する教諭 ・ 過年度の該当者で未受講者	
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
Ⅰ	6／20 (金) 10:00～16:15	○いじめや不登校の未然防止と対応(講義・演習)	2S	生徒指導力①②③
		○教育活動全体を通じたキャリア教育(講義・演習)	2S	教育課題への対応①
		○学校組織の一員として－自己理解に基づく目標設定－(講義・演習)	2S	マネジメント能力①②③
Ⅱ	7／23 (水) 10:00～16:15	○カリキュラム・マネジメント(講義・演習)	2S	教科等指導力①② マネジメント能力⑤
		○カリキュラム・マネジメントを軸にした授業改善(講義・協議・演習)	2S	教科等指導力③④
携 行 品		Ⅰ期：自校の「キャリア教育全体計画」6部 Ⅱ期：担当教科の「高等学校学習指導要領解説」（平成30年、文部科学省） ：「学校要覧」等、自校のカリキュラム・マネジメントに関わる内容が記されている教育計画 ：担当教科の単元（題材）計画 ※学年、単元（題材）の指定なし ：授業の録画映像（映像データの入ったUSB等、又は、DVカメラ、タブレット等、電子黒板に接続可能な機器） ※DVカメラ、タブレット等で映像データを持参する場合は、電子黒板等との接続に必要なアダプターやケーブル等を持参する。 ：録画した授業の学習指導案8部、説明に必要な資料8部		
備 考		Ⅱ期：詳細については、Ⅰ期の際に担当から受講者に連絡する。		

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-18		実践的指導力向上研修講座(特別支援学校8年目)			
研 修 の 目 標			対 象		
自己理解に基づき、個々の個性・適性、分掌等に応じた資質能力の向上を図る。			・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて8年目（他県での教諭経験年数を含む）で、今年度特別支援学校に所属する教諭 ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
I	7/8 (火) 10:00～16:15	○学校組織の一員としてー自己理解に基づく目標設定ー(講義・演習)		2S	マネジメント能力①②③
		○授業改善と教育課程ーカリキュラム・マネジメントの視点からー(協議)		2S	マネジメント能力⑤⑥ 生徒指導力④ 教科等指導力①②④
II	11/11 (火) 10:00～16:15	○授業分析と授業改善(協議:A-8と合同)		2S	教科等指導力①②③④
携 行 品		I 期：5～6月に実施した授業に関わる次の①～③のもの ①学習指導案（略案可：事前提出） ②授業の録画映像（DVカメラ、タブレット、スマートフォン等、TVに接続再生可能な機器とTV接続に必要なアダプタやケーブル等も持参する） ③教科書、資料、教材・教具等（必要に応じて） ：課題レポート II 期：課題レポート			
備 考		全期：課題レポートの様式は、当センターウェブサイトに掲載するので、各自ダウンロードして使用する。			

連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

研修コード D08-501

A-19	実践的指導力向上研修講座(養護教諭8年目)		
研 修 の 目 標		対 象	
自己理解に基づき、個々の個性・適性、分掌等に応じた資質能力の向上を図る。		・ 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に採用されて8年目（他県での養護教諭経験年数を含む）の養護教諭 ・ 過年度の該当者で未受講者	
日 時	研 修 内 容		指標における主な項目
6/13 (金) 10:00～16:15	○いじめや不登校の未然防止と対応(講義・演習)	2S	生徒指導力①②③
	○学校組織の一員として－自己理解に基づく目標設定－(講義・演習)	2S	マネジメント能力①②③
	○コーチングの基礎(講義・演習)	2S	マネジメント能力③

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-20		中堅教諭等資質向上研修講座(小学校)		
研 修 の 目 標		対 象		
中堅教諭としての自覚や学校経営参画意識を高め、個々の能力、適性等に応じて、ミドルリーダーに必要とされる資質の向上を図る。		・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて在職期間が10年に達し、今年度小学校に所属する教諭 ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目
I	6/24 (火) 10:00~16:15 [オンライン実施]	【開講式】中堅教諭等への期待(全校種合同) ○教育公務員の服務 (講義・演習:A-21、A-24と合同) ○学校の危機管理(講義・演習:全校種合同) ○質の高い授業研究を継続的に進めていくための方略 (講義:全校種合同) 秋田大学大学院 教授 成田 雅樹		基礎的素養 3S マネジメント能力④ 3S 教科等指導力②
II	8/1 (金) 10:00~16:15	○学校全体で取り組む情報教育(講義・演習) ○教科指導の充実と推進(講義・協議・演習)		3S 教育課題への対応⑤ 3S 教科等指導力①②③④
III	9/9 (火) 10:00~16:15	○自己の生き方についての考えを深める道徳科 (講義・演習) ○いじめの理解と対応(講義:A-24と合同) ○気になる児童の事例を通した具体的対応の理解 (講義・協議:A-24と合同)		3S 教科等指導力①② 3S 生徒指導力①② 3S 生徒指導力①③④
IV	10/21 (火) 10:00~16:15	○教育活動全体を通じたキャリア教育(講義・演習) ○意欲的な活動を促す特別活動の工夫(協議) ○学校組織の一員としてーキャリアデザイナーー (講義・演習) ○これからの学校教育(講話:全校種合同) 【閉講式】中堅教諭等資質向上研修を終えるに当たって (全校種合同)		3S 教育課題への対応① 3S 教科等指導力①② 3S 基礎的素養 3S マネジメント能力①②③ 3S 教育課題への対応
携 行 品		I 期:「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 II 期:受講教科の「小学校学習指導要領解説」(平成29年、文部科学省) III 期:協議したい気になる児童の事例についてのレポート (様式や部数等詳細についてはI 期の際に連絡する) :「小学校学習指導要領解説」特別の教科 道徳編(平成29年、文部科学省) IV 期:学級活動についてのレポート(詳細についてはI 期の際に連絡する)		
備 考		I 期:センターに集合せず、オンラインにより実施する。 II 期:「教科指導の充実と推進」の受講教科希望調査については、5月上旬に担当から受講者に連絡する。 :「教科指導の充実と推進」では、事前に提出された自校での教科指導の取組に関するレポートを基に協議を行う。レポートの内容等については、受講教科決定後、担当から受講者に連絡する。レポートの様式は、当センターウェブサイトに掲載するので、各自ダウンロードして使用する。なお、レポートの提出期限は7月25日(金)を予定している。		

連絡先:研修チーム TEL (018)873-7202

A-21		中堅教諭等資質向上研修講座(中学校)		
研 修 の 目 標			対 象	
中堅教諭としての自覚や学校経営参画意識を高め、個々の能力、適性等に応じて、ミドルリーダーに必要とされる資質の向上を図る。			・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて在職期間が10年に達し、今年度中学校に所属する教諭 ・過年度の該当者で未受講者	
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
I	6/24 (火) 10:00~16:15 [オンライン実施]	【開講式】中堅教諭等への期待(全校種合同) ○教育公務員の服務 (講義・演習:A-20、A-24と合同) ○学校の危機管理 (講義・演習:全校種合同) ○質の高い授業研究を継続的に進めていくための方略 (講義:全校種合同) 秋田大学大学院 教授 成田 雅樹	3S 3S	基礎的素養 マネジメント能力④ 教科指導力②
II	7/28 (月) 10:00~16:15	○学校全体で取り組む情報教育 (講義・演習) ○高い専門性に基づく教科指導の充実と推進 (講義・協議・演習)	3S 3S	教育課題への対応⑤ 教科等指導力①②③④
III	9/11 (木) 10:00~16:15	○人間としての生き方についての考えを深める道徳科 (講義・演習) ○いじめの理解と対応 (講義:A-24と合同) ○気になる生徒の事例を通じた具体的対応の理解 (講義・協議:A-24と合同)	3S 3S 3S	教科等指導力①② 生徒指導力①② 生徒指導力①③④
IV	10/21 (火) 10:00~16:15	○教育活動全体を通じたキャリア教育 (講義・協議) ○意欲的な活動を促す特別活動の工夫 (協議) ○学校組織の一員として一キャリアデザイナー (講義・演習) ○これからの学校教育 (講話:全校種合同) 【閉講式】中堅教諭等資質向上研修を終えるに当たって (全校種合同)	3S 3S 3S 3S	教育課題への対応① 教科等指導力①② 基礎的素養 マネジメント能力①②③ 教育課題への対応
携 行 品		I期:「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 II期:担当教科の「中学校学習指導要領解説」(平成29年、文部科学省) III期:協議したい気になる生徒の事例についてのレポート (様式や部数等詳細についてはI期の際に連絡する) :「中学校学習指導要領解説」特別の教科 道徳編(平成29年、文部科学省) IV期:学級活動についてのレポート(詳細についてはI期の際に連絡する)		
備 考		I期:センターに集合せず、オンラインにより実施する。 II期:「高い専門性に基づく教科指導の充実と推進」では、事前に提出された自校での教科指導の取組に関するレポートを基に協議を行う。レポートの内容等については、5月中旬に担当から受講者に連絡する。レポートの様式は、当センターウェブサイトに掲載するので、各自ダウンロードして使用する。なお、レポートの提出期限は7月22日(火)を予定している。		

連絡先:研修チーム TEL (018)873-7202

A-22		中堅教諭等資質向上研修講座(高等学校)		
研 修 の 目 標		対 象		
中堅教諭としての自覚や学校経営参画意識を高め、個々の能力、適性等に応じて、ミドルリーダーに必要とされる資質の向上を図る。		・ 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて在職期間が10年に達し、今年度高等学校に所属する教諭 ・ 過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目
I	6 / 24 (火) 10:00～16:15 [オンライン実施]	【開講式】 中堅教諭等への期待 (全校種合同) ○教育公務員の服務 (講義・演習:A-24と合同) ○学校の危機管理 (講義・演習:全校種合同) ○質の高い授業研究を継続的に進めていくための方略 (講義:全校種合同) 秋田大学大学院 教授 成田 雅樹		基礎的素養 3S マネジメント能力④ 3S 教科等指導力②
II	8 / 5 (火) 10:00～16:15	○高い専門性に基づく教科指導の充実と推進 (講義・協議・演習)		3S 教科等指導力①②③④
III	9 / 18 (木) 10:00～16:15	○人間としての在り方生き方を考える道德教育 (講義・協議・演習) ○いじめの理解と対応 (講義:A-24と合同) ○気になる生徒の事例を通じた具体的対応の理解 (講義・協議:A-24と合同)		3S 教科等指導力① 3S 生徒指導力①② 3S 生徒指導力①③④
IV	10 / 21 (火) 10:00～16:15	○学校全体で取り組む情報教育 (講義・演習) ○キャリア教育の推進 (協議) ○学校組織の一員としてーキャリアデザイナーー (講義・演習) ○これからの学校教育 (講話:全校種合同) 【閉講式】 中堅教諭等資質向上研修を終えるに当たって (全校種合同)		3S 教育課題への対応⑤ 3S 教育課題への対応① 3S 基礎的素養 マネジメント能力①②③ 3S 教育課題への対応
携 行 品		I 期:「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 II 期:担当教科の「高等学校学習指導要領解説」(平成30年、文部科学省) :担当教科の「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」 (令和3年、文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター) :授業の録画映像(映像データの入ったUSB等、又は、DVカメラ、タブレット等、電子黒板に接続可能な機器) ※DVカメラ、タブレット等で映像データを持参する場合は、電子黒板等との接続に必要なアダプターやケーブル等を持参する。 :録画した授業の学習指導案8部、説明に必要な資料8部 III 期:自校の「道德教育」の全体計画 6部 :協議したい気になる生徒の事例についてのレポート (様式や部数等詳細については、I 期の際に連絡する) IV 期:「キャリア教育の推進」についてのレポート(詳細はI 期の際に連絡する)		
備 考		I 期:センターに集合せず、オンラインにより実施する。 II 期:詳細については、5月中旬に担当から受講者に連絡する。		

A-23		中堅教諭等資質向上研修講座(特別支援学校)		
研 修 の 目 標		対 象		
中堅教諭としての自覚や学校経営参画意識を高め、個々の能力、適性等に応じて、ミドルリーダーに必要とされる資質の向上を図る。		・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教諭として採用されて在職期間が10年に達し、今年度特別支援学校に所属する教諭 ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目
I	6 / 24 (火) 10:00～16:15 [オンライン実施]	【開講式】中堅教諭等への期待(全校種合同) ○教育公務員の服務(講義・演習) ○学校の危機管理(講義・演習:全校種合同) ○質の高い授業研究を継続的に進めていくための方略(講義:全校種合同) 秋田大学大学院 教授 成田 雅樹		基礎的素養 マネジメント能力④ 教科指導力②
II	7 / 10 (木) 10:00～16:15	○インクルーシブ教育の充実に向けて(講義・演習) ○指導計画立案のためのアセスメント(講義・演習・協議)		教育課題への対応④ 生徒指導力①④ マネジメント能力①⑥ 生徒指導力①④ 教科等指導力②③④
III	9 / 25 (木) 10:00～16:15	○アセスメントを生かした指導の実際(協議) ○学習指導要領と教育課程(講義・演習) ○教育相談の考え方・進め方(講義・演習)		教科等指導力②④ 教科等指導力①②④ 生徒指導力①③
IV	10 / 21 (火) 10:00～16:15	○教育活動全体を通じたキャリア教育(講義・演習) ○学校組織の一員としてーキャリアデザイナーー(講義・演習) ○これからの学校教育(講話:全校種合同) 【閉講式】中堅教諭等資質向上研修を終えるに当たって(全校種合同)		教育課題への対応① 基礎的素養 マネジメント能力①②③ 教育課題への対応
携 行 品		I期:「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 II期:協議資料「事例情報カード」(様式等については、I期の際に連絡する) III期:協議資料「アセスメントシート③」(様式等については、II期の際に連絡する) IV期:「キャリア教育全体計画」(各校の様式による)		
備 考		I期:センターに集合せず、オンラインにより実施する。 II期、III期:協議資料の様式は、当センターウェブサイトに掲載するので、各自ダウンロードして使用する。		

連絡先: 支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

A-24		中堅教諭等資質向上研修講座(養護教諭)		
研 修 の 目 標			対 象	
中堅養護教諭としての自覚や学校経営参画意識を高め、個々の能力、適性等に応じて、ミドルリーダーに必要とされる資質の向上を図る。			・小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に採用されて在職期間が10年に達した養護教諭 ・過年度の該当者で未受講者	
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目
I	6/24 (火) 10:00～16:15 [オンライン実施]	【開講式】中堅教諭等への期待(全校種合同) ○教育公務員の服務 (講義・演習:該当する各校種と合同) ○学校の危機管理(講義・演習:全校種合同) ○チームで取り組む特別支援教育(講義・演習)		基礎的素養 3S マネジメント能力④ 3S 教育課題への対応④ 生徒指導力④
II	9/9(火)小 9/11(木)中 9/18(木)高 12:30～16:15 ※各校種別	○いじめの理解と対応(講義) ○気になる児童生徒の事例を通した具体的対応の理解 (講義・協議)		3S 生徒指導力①② 3S 生徒指導力①③④ 専門的指導力③
III	10/21 (火) 10:00～16:15	○教育活動全体を通じたキャリア教育(講義) ○学校全体で取り組む情報教育(講義) ○学校組織の一員としてーキャリアデザイナーー (講義・演習) ○これからの学校教育(講話:全校種合同) 【閉講式】中堅教諭等資質向上研修を終えるに当たって (全校種合同)		3S 教育課題への対応① 3S マネジメント能力⑤ 3S 基礎的素養 マネジメント能力①②③ 3S 教育課題への対応
携 行 品		I 期:「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 II 期:協議したい気になる児童生徒の事例についてのレポート (様式や部数等詳細については、I 期の際に連絡する)		
備 考		I 期:センターに集合せず、オンラインにより実施する。 II 期:A-20小学校Ⅲ期(9/9)、A-21中学校Ⅲ期(9/11)、A-22高等学校Ⅲ期(9/18)の該当する各校種と合同で受講する。特別支援学校は、いずれかの校種を選択し、担当に連絡の上、受講する。		

連絡先:研修チーム TEL (018)873-7202

A-25	実践的指導力発展研修講座		
研 修 の 目 標		対 象	
豊富な経験を生かして積極的に学校経営に参画し、学校改善や若手教員の育成を推進する資質能力の向上を図る。		次の事項を満たす（①又は②、かつ③） 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校教諭 ①誕生年月日が昭和46年4月2日～昭和47年4月1日で、中堅教諭等資質向上研修講座を受講済みの教諭 ②前年度の未受講者 ③これまでの所属校（今年度を含む）において次の校務分掌の経験がない教諭 小学校 : 教務主任、進路指導主事、生徒指導主事、研究主任 中学校 : 教務主任、進路指導主事、生徒指導主事、研究主任、学年主任 高等学校 : 教務主任、進路指導主事、生徒指導主事、学年主任、総務主任 特別支援学校 : 教務主任、進路指導主事、生徒指導主事、研究主任、	
日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
所属の学校での研修 ～7月末（1日）	○「私を育てたもの」をテーマとしたレポートの作成 ・これまでの教職のキャリアを振り返り、自分自身が教師として成長するきっかけとなった出来事や出会い、経験等をまとめる。	4S	学校マネジメント力
8 / 4 (月) 10:00～16:15	○実践的指導力発展講座①(講義・演習)	4S	組織運営力
	○実践的指導力発展講座②(講義・演習)	4S	人材育成力
	○学校組織の一員として(講義・演習)	4S	組織運営力
携 行 品	「私を育てたもの」をテーマとしたレポート 5部 (A4判片面あるいは両面、様式自由)		
備 考	※「指標における主な項目」の「4S」は、「第4ステージ 教職経験活用・発展期【ベテラン教員】」を指す。		

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-26		小・中学校新任校長研修講座		
研 修 の 目 標			対 象	
各学校が直面する喫緊の課題に対して組織的に対応し、特色ある教育活動を推進できる総合的な学校経営力を身に付けることで、校長としての資質向上を図る。			・ 小学校、中学校の新任校長 ・ 過年度の該当者で未受講者	
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
I	5 / 9 (金) 10:00～16:15	○本県の教育課題と校長への期待(講話:A-27と合同)	校長	学校経営者としての資質
		○社会に開かれた教育課程(講義:A-27と合同)	校長	ファシリテーション
		○職員管理と危機管理の実際(講義・演習)	校長	経営資源の活用 危機管理 経営判断・決断
II	6 / 4 (水) 10:00～16:15	○学校経営の実際(実践発表)	校長	学校経営ビジョンの構築・実現
	6 / 5 (木) 10:00～16:15	○学校組織マネジメント①(講義・演習:A-27と合同)	校長	学校経営ビジョンの構築・実現 人材育成・組織運営 アセスメント ファシリテーション
		○学校組織マネジメント②(講義・演習:A-27と合同)	校長	
		○学校組織マネジメント③(講義・演習:A-27と合同)	校長	
[学校組織マネジメント①・②・③] 環太平洋大学 教授 浅野 良一				
携 行 品		II期:「学校要覧」等自校の教育計画		

連絡先:研修チーム TEL (018)873-7202

A-27		県立学校新任校長研修講座		
研 修 の 目 標			対 象	
各学校が直面する喫緊の課題に対して組織的に対応し、特色ある教育活動を推進できる総合的な学校経営力を身に付けることで、校長としての資質向上を図る。			・ 高等学校、特別支援学校の新任校長 ・ 過年度の該当者で未受講者	
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
Ⅰ	5 / 9 (金) 10:00～16:15	○本県の教育課題と校長への期待(講話:A-26と合同)	校長	学校経営者としての資質
		○社会に開かれた教育課程(講義:A-26と合同)	校長	ファシリテーション
		○職員管理と危機管理の実際(講義・演習)	校長	経営資源の活用 危機管理 経営判断・決断
Ⅱ	6 / 4 (水) 10:00～16:15	○学校経営の実際(実践発表)	校長	学校経営ビジョンの構築・実現
		○学校組織マネジメント①(講義・演習:A-26と合同)	校長	学校経営ビジョンの構築・実現 人材育成・組織運営 アセスメント ファシリテーション
	6 / 5 (木) 10:00～16:15	○学校組織マネジメント②(講義・演習:A-26と合同)	校長	
		○学校組織マネジメント③(講義・演習:A-26と合同)	校長	
		[学校組織マネジメント①・②・③] 環太平洋大学 教授 浅野 良一		
携 行 品		Ⅱ期:「学校要覧」等自校の教育計画		

連絡先:研修チーム TEL (018)873-7202

A-28		小・中学校新任教頭研修講座		
研 修 の 目 標		対 象		
各学校が直面する喫緊の課題に対して組織的に対応するために、総合的な学校経営力を身に付けることで教頭としての資質向上を図る。		・小・中学校の新任副校長 (本研修講座の既受講者を除く) ・小学校、中学校の新任教頭 ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
I	5/15 (木) 10:00～16:15 [オンライン実施]	○学校の危機管理(講義・演習) ○目標管理と人事評価システム(講義) ○インクルーシブ教育の充実に向けてー管理職が果たすべき役割ー(講義・演習:A-29と合同) ○教員のメンタルヘルス(講義:A-29と合同)	4S	学校経営力
			4S	学校経営力 人材育成力
			4S	学校経営力 特別支援教育の推進力
			4S	学校経営力
II	7/30 (水) 10:00～16:15	○学校組織マネジメント(講義・演習) 秋田大学大学院 教授 和田 渉 ○学校経営に関する課題とその解決策(協議)	4S	学校経営力 外部折衝力
			4S	学校マネジメント力
携 行 品		I 期:「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 : 自校の危機管理マニュアル : 人事評価マニュアル II 期:「学校要覧」等自校の教育計画(作成途中のものでよい)		
備 考		I 期:センターに集合せず、オンラインにより実施する。 II 期:事前提出資料等については、担当から受講者に連絡する。 ※「指標における主な項目」の「4S」は、「第4ステージ 学校経営支援・実践期【副校長・教頭】」を指す。		

連絡先:研修チーム TEL (018)873-7202

A－29		県立学校新任教頭研修講座			
研 修 の 目 標			対 象		
各学校が直面する喫緊の課題に対して組織的に対応するために、総合的な学校経営力を身に付けることで教頭としての資質向上を図る。			・高等学校、特別支援学校の新任副校長 （本研修講座の既受講者を除く） ・高等学校、特別支援学校の新任教頭 ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
Ⅰ	5／15 （木） 10:00～16:15 [オンライン実施]	○学校の危機管理（講義・演習）		4S	学校経営力
		○目標管理と人事評価システム（講義）		4S	学校経営力 人材育成力
		○インクルーシブ教育の充実に向けて－管理職が果たすべき役割－（講義・演習：A－28と合同）		4S	学校経営力 特別支援教育の推進力
		○教員のメンタルヘルス（講義：A－28と合同）		4S	学校経営力
Ⅱ	7／30 （水） 10:00～16:15	○学校組織マネジメント（講義・演習） 秋田大学大学院 特別教授 近江谷 正幸		4S	学校経営力 外部折衝力
		○学校経営に関する課題とその解決策（協議）		4S	学校マネジメント力
携 行 品		Ⅰ 期：「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 ：自校の危機管理マニュアル ：人事評価マニュアル Ⅱ 期：「学校要覧」等自校の教育計画（作成途中のものでよい）			
備 考		Ⅰ 期：センターに集合せず、オンラインにより実施する。 Ⅱ 期：事前提出資料等については、担当から受講者に連絡する。 ※「指標における主な項目」の「4S」は、「第4ステージ 学校経営支援・実践期【副校長・教頭】」を指す。			

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-30		小・中学校新任教務主任研修講座		
研 修 の 目 標		対 象		
教務主任の職務と役割を理解することで、学校経営を円滑かつ適切に推進する中核的存在として同僚教員に指導・助言を行うことができるよう、指導力を高める。		・ 小学校、中学校の新任教務主任 ・ 過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
I	5/30 (金) 10:00～16:15 [オンライン実施]	○学校の組織力向上と教務主任の役割(講義) ○教育法規の解釈と運用(講義・演習) ○コーチングの基礎(講義・演習)	4S	学校マネジメント力
			4S	組織運営力
			4S	組織運営力 人材育成力
II	10/23 (木) 10:00～16:15	○カリキュラム・マネジメント(講義・演習) ○チームで取り組む特別支援教育 (講義・演習:A-31[高等学校]と合同) ○教務運営に関する課題と解決への取組(協議:校種別)	4S	組織運営力 教科等指導力
			4S	組織運営力 特別支援教育の推進力
			4S	学校マネジメント力
携 行 品		I 期:「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 II 期:「教務運営に関する自校の課題と解決への取組」に関するレポート6部 (A4判1枚程度、様式自由)		
備 考		I 期:センターに集合せず、オンラインにより実施する。 ※「指標における主な項目」の「4S」は、「第4ステージ教職経験活用・発展期【ベテラン教員】」を指す。		

連絡先:研修チーム TEL (018)873-7202

A-31		県立学校新任教務主任研修講座			
研 修 の 目 標			対 象		
教務主任の職務と役割を理解することで、学校経営を円滑かつ適切に推進する中核的存在として同僚教員に指導・助言を行うことができるよう、指導力を高める。			・高等学校、特別支援学校の新任教務主任 ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
Ⅰ	5 / 27 (火) 10:00～16:15 [オンライン実施]	○学校の組織力向上と教務主任の役割(講義)		4S	学校マネジメント力
		○これからの秋田県学校教育と教務主任への期待(講義)		4S	組織運営力
		○学校運営に生かすコーチングマインド(講義・演習)		4S	組織運営力 人材育成力
Ⅱ	10 / 23 (木) 10:00～16:15	○カリキュラム・マネジメント(講義・演習)		4S	組織運営力 教科等指導力
		[高等学校] ○チームで取り組む特別支援教育(講義・演習:A-30と合同)		4S	組織運営力 特別支援教育の推進力
		[特別支援学校] ○個別の教育支援計画の活用と実践(講義・演習)		4S	組織運営力 特別支援教育の推進力
		○教務運営に関する課題と解決への取組(協議:校種別)		4S	学校マネジメント力
携 行 品		Ⅰ期:「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 :「学校要覧」等自校の教育計画(冊子としてできていなくてもよい) Ⅱ期:「教務運営に関する自校(特別支援学校の場合は「学部」)の課題と解決への取組」に関するレポート 20部(A4判1枚程度、様式自由)			
備 考		Ⅰ期:センターに集合せず、オンラインにより実施する。 ※「指標における主な項目」の「4S」は、「第4ステージ教職経験活用・発展期【ベテラン教員】」を指す。			

連絡先:研修チーム TEL (018)873-7202

A－32		新任研究主任研修講座(小・中学校、特別支援学校)			
研 修 の 目 標			対 象		
研究主任として必要な校内研修の進め方や校内研究計画の立て方等についての研修を通して、校内研修・校内研究を推進する資質を高める。			・ 小学校、中学校、特別支援学校の新任研究主任 ・ 過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
Ⅰ	5／8 (木) 10:00～16:15	○研究主任に期待する(講話)		3S	教科等指導力①③
		○校内における研修推進の在り方①(講義)		3S	マネジメント能力② 教科等指導力①③
		○研修推進に関する現状と課題(協議:校種別)		3S	教科等指導力①③④
Ⅱ	9／29 (月) 10:00～16:15	○校内における研修推進の在り方②(講義・演習)		3S	マネジメント能力② 教科等指導力①③
		○研修推進に関する探究的省察 (協議・発表:校種別)		3S	教科等指導力①③④
携 行 品		Ⅱ期：事前提出の研修推進レポート等についてはⅠ期の際に連絡する。			

連絡先: 研修チーム TEL (018)873-7202

A－33		中学校新任学年主任研修講座		
研 修 の 目 標			対 象	
学年経営に関する理論と実践の在り方についての研修を通して、実践的な指導力を高める。			・ 中学校の新任学年主任 ・ 令和6年度の該当者で未受講者	
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
Ⅰ	5 / 16 (金) 10:00～16:15	○望まれる学年主任像と学年主任の役割(講話)	3S	マネジメント能力
		○生徒指導における学年主任の役割(講義・演習)	3S	生徒指導力①②③
		○思春期の揺れと成長を共に歩む(講話:A－34と合同) 秋田赤十字病院心療センター 臨床心理士 丸山 真理子	3S	生徒指導力①③④
Ⅱ	6 / 27 (金) 10:00～16:15	○チームで取り組む特別支援教育(講義・演習)	3S	マネジメント能力⑥ 生徒指導力①④
		○学年経営における課題への対応①(協議)	3S	マネジメント能力①
		○公開講演「特別活動を要としたキャリア教育の推進」 (A－34、C－29、C－30と合同) 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 長田 徹	3S	教育課題への対応①
		○学年経営における課題への対応②(協議)	3S	マネジメント能力① 教育課題への対応③
携 行 品		Ⅱ期：所属学年の学年経営案		

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A－34		高等学校新任学年主任研修講座		
研 修 の 目 標			対 象	
学年経営に関する理論と実践の在り方についての研修を通して、実践的な指導力を高める。			・ 高等学校の新任学年主任 ・ 過年度の該当者で未受講者	
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
Ⅰ	5／16 (金) 10:00～16:15	○望まれる学年主任像と学年主任の役割(講話)	3S	マネジメント能力
		○生徒指導における学年主任の役割(講義・演習)	3S	生徒指導力①②③
		○思春期の揺れと成長を共に歩む(講話:A－33と合同) 秋田赤十字病院心療センター 臨床心理士 丸山 真理子	3S	生徒指導力①③④
Ⅱ	6／27 (金) 10:00～16:15	○学年経営と組織マネジメントの基礎(講義・演習・協議)	3S	マネジメント能力①③
		○公開講演「特別活動を要としたキャリア教育の推進」 (A－33、C－29、C－30と合同) 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 長田 徹	3S	教育課題への対応①
		○学年経営の実際と運営(講義・協議)	3S	マネジメント能力① 教育課題への対応③
携 行 品		Ⅱ期：事前提出資料等については、担当から受講者に連絡する。		
備 考		右の二次元コードより、研修事前調査として 5月9日(金)を期限とし回答をすること。 二次元コードURL https://forms.gle/JeN2mtifXbe7EeeE8		



連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-35		小学校新任生徒指導主事研修講座		
研 修 の 目 標		対 象		
生徒指導主事として必要な基本的事項と、各学校の生徒指導の状態に応じた具体的な対応の在り方について理解を深める。		・ 小学校の新任生徒指導主事 ・ 特別支援学校の新任生徒指導主事（A-36、A-37受講予定者を除く） ・ 過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
I	5/20 (火) 10:00～16:15	○生徒指導主事の役割(講義)	3S	生徒指導力①③
		○危機管理、保護者対応、児童生徒支援からいじめ問題を考える(講義・演習:A-36、A-37、C-39と合同) 神田外語大学 客員教授 嶋崎 政男	3S	マネジメント能力④ 生徒指導力①②③
II	10/20 (月) 10:00～16:15	○事例を通した児童理解と対応(講義・演習)	3S	生徒指導力①④
		○災害や事件・事故発生時における心のケア (講義・演習:A-36、A-37と合同) 東北医科薬科大学 病院准教授 福地 成	3S	マネジメント能力④ 生徒指導力①③

連絡先：支援チーム 児童生徒支援担当 TEL (018)873-7205

A-36		中学校新任生徒指導主事研修講座		
研 修 の 目 標		対 象		
生徒指導主事として必要な基本的事項と、各学校の生徒指導の状態に応じた具体的な対応の在り方について理解を深める。		・ 中学校の新任生徒指導主事 ・ 特別支援学校の新任生徒指導主事（A-35、A-37受講予定者を除く） ・ 過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
I	5/20 (火) 10:00～16:15	○生徒指導主事の役割(講義)	3S	生徒指導力①③
		○危機管理、保護者対応、児童生徒支援からいじめ問題を考える(講義・演習:A-35、A-37、C-39と合同) 神田外語大学 客員教授 嶋崎 政男	3S	マネジメント能力④ 生徒指導力①②③
II	10/20 (月) 10:00～16:15	○事例を通した生徒理解と対応(講義・演習)	3S	生徒指導力①④
		○災害や事件・事故発生時における心のケア(講義・演習:A-35、A-37と合同) 東北医科薬科大学 病院准教授 福地 成	3S	マネジメント能力④ 生徒指導力①③

連絡先：支援チーム 児童生徒支援担当 TEL (018)873-7205

A-37		高等学校新任生徒指導主事研修講座			
研 修 の 目 標			対 象		
生徒指導主事として必要な基本的事項と、各学校の生徒指導の状態に応じた具体的な対応の在り方について理解を深める。			・高等学校の新任生徒指導主事 ・特別支援学校の新任生徒指導主事（A-35、A-36受講予定者を除く） ・過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
I	5 / 20 (火) 10:00～16:15	○生徒指導主事の役割(講義)		3S	生徒指導力①③
		○危機管理、保護者対応、児童生徒支援からいじめ問題を考える(講義・演習:A-35、A-36、C-39と合同) 神田外語大学 客員教授 嶋崎 政男		3S	マネジメント能力④ 生徒指導力①②③
II	10 / 20 (月) 10:00～16:15	○事例を通した生徒理解と対応(講義・演習)		3S	生徒指導力①④
		○災害や事件・事故発生時における心のケア (講義・演習:A-35、A-36と合同) 東北医科薬科大学 病院准教授 福地 成		3S	マネジメント能力④ 生徒指導力①③

連絡先：支援チーム 児童生徒支援担当 TEL (018)873-7205

研修コード E04-221

A-38	中学校新任進路指導主事研修講座		
研 修 の 目 標		対 象	
進路指導主事の役割やキャリア教育等についての理解を深め、校内で実践的に進路指導を推進する力を高める。		・ 中学校の新任進路指導主事 ・ 過年度の該当者で未受講者	
日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
7 / 8 (火) 10:00～16:15	○キャリア教育と進路指導(講義・協議)	3S	教育課題への対応① 生徒指導力①
	○キャリア教育の視点を踏まえた進路指導の実践 (実践発表)	3S	教育課題への対応① 生徒指導力①
	○中学校でしかできないキャリア教育を(講義・演習) 秋田県立大学総合科学教育研究センター 准教授 渡部 昌平	3S	教育課題への対応①
携 行 品	進路指導全体計画(あるいはキャリア教育全体計画)及び進路指導年間指導計画(あるいはキャリア教育年間指導計画) 35部(A4判)		

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

研修コード E04-204

A-39	小・中学校新任道德教育推進教師研修講座		
研 修 の 目 標		対 象	
道德教育及び道德科について理解を深めるとともに、道德教育推進教師として各学校における道德教育の充実に向けた実践的な推進力を身に付ける。		・ 小学校、中学校の新任道德教育推進教師 ・ 令和6年度の該当者で未受講者	
日 時	研 修 内 容		指標における主な項目
7 / 2 (水) 10:00～16:15	○道德教育の充実のために(実践発表・講義・演習)	3S	教科等指導力①③
	○公開講演「道德教育推進上の課題と道德教育推進教師の役割」(A-40と合同) 十文字学園女子大学 教授 浅見 哲也	3S	マネジメント能力② 教科等指導力①③
	○道德教育及び道德科の充実に向けた取組(協議)	3S	マネジメント能力② 教科等指導力
携 行 品	・ 所属する校種の「学習指導要領解説」特別の教科 道德編 (平成29年、文部科学省) ・ 自校の道德教育全体計画 6部		

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

研修コード E04-302

A-40	高等学校新任道德教育推進教師研修講座		
研 修 の 目 標		対 象	
高等学校における道德教育について理解を深めるとともに、各校における道德教育の実践的な推進力を身に付ける。		・高等学校の新任道德教育推進教師（過年度B講座「高等学校道德教育推進研修講座」の既受講者は除く） ・令和6年度の該当者で未受講者	
日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
7 / 2 (水) 10:00～16:15	○道德教育の現状と推進のための取組(講義・演習)	3S	教科等指導力①③
	○公開講演「道德教育推進上の課題と道德教育推進教師の役割」(A-39と合同) 十文字学園女子大学 教授 浅見 哲也	3S	マネジメント能力② 教科等指導力①③
	○道德教育推進に向けた課題と改善策の具体化 (協議・発表)	3S	マネジメント能力② 教科等指導力
携 行 品	自校の道德教育全体計画 6部 (A4判)		

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-41		小・中学校特別支援学級新担任研修講座			
研 修 の 目 標			対 象		
特別支援学級における児童生徒の理解と学級経営・学習指導の実践的な力を高める。			・ 小学校、中学校特別支援学級の新担任の教諭（通級指導教室担当教諭は除く） ・ 過年度の該当者で未受講者		
期	日 時	研 修 内 容		指標における主な項目	
Ⅰ	5／12 （月） 10:00～16:15	○特別支援学級における児童生徒理解（講義・演習）		3S	生徒指導力①④
		○教育課程の編成（講義・演習）		3S	マネジメント能力①④⑥
		○個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成（講義・演習）		3S	生徒指導力①④
		○特別支援学級における学級経営（協議）		3S	マネジメント能力①④⑥
Ⅱ	8／28(木)県北 10／3(金)県央 9／26(金)県南 9:30～15:30 ※地区別開催	○自立活動や各教科等を合わせた指導の授業の実際（授業参観）		3S	教科等指導力②④
		○特別支援学級における進路指導（講義・演習）		3S	生徒指導力①③④
		○特別支援学級における指導・支援の実際（実践発表）		3S	生徒指導力②④
		○学級経営や学習指導等における工夫と課題（協議）		3S	生徒指導力①④
携 行 品		全期：「特別支援学級担任の手引」（当センターウェブサイトから各自ダウンロードし、紙媒体又はデータを保存した端末等を持参） Ⅰ期：学級経営案、週時程表等 各10部（学校名を入れる。個人情報に配慮する） ：学級の児童生徒の個別の教育支援計画・個別の指導計画 各1名分（今年度のものを作成中の場合は、昨年度のものでも可） Ⅱ期：学級経営や学習指導等に関するレポート（事前提出）			
備 考		Ⅱ期：会場、レポートについては、Ⅰ期の際に連絡する。			

連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

A-42	通級指導教室新担当者研修講座		
研 修 の 目 標		対 象	
通級による指導や担当者に求められる役割等の基本的な知識を身に付けるとともに、個々の教育的ニーズを踏まえた指導・支援について理解する。		・ 小学校、中学校、高等学校通級指導教室の新担当の教諭 ・ 令和6年度の該当者で未受講者	
日 時	研 修 内 容		指標における主な項目
4/17 (木) 10:00～16:15 [オンライン実施]	○特別支援教育の動向と通級による指導の実際(講義)	3S	教育課題への対応④ 教科等指導力②④
	○通級による指導における自立活動の指導(講義・演習)	3S	教科等指導力②④
	○通級指導教室の運営にあたって(講義・協議)	3S	生徒指導力①④ マネジメント能力①⑥
携 行 品	・ 「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド(令和2年3月)」(文部科学省ウェブサイトから各自ダウンロード) ・ 「通級による指導の手引(平成30年4月)」(秋田県教育委員会特別支援教育課ウェブサイトから各自ダウンロード)		
備 考	センターに集合せず、オンラインにより実施する。		

連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

研修コード E08-201

A-43	小学校講師研修講座A	
研 修 の 目 標		対 象
教員としての心構えを身に付け、県内の公立学校に勤務する講師として必要な資質能力の向上を図る。		・秋田県の教員として初めて勤務する、今年度小学校に所属する講師（臨時）（他県教諭経験者、他校種での既受講者は除く） ・令和6年度の該当者で未受講者
日 時	研 修 内 容	
4 / 25 (金) 10:00～16:15	○教育公務員の服務（講義：A-44、A-47と合同） ○学校組織の一員として一組織人の基本－（講義・演習：A-44、A-47と合同） ○授業づくりについて（講義・演習） ○人間関係づくりについて（講義・演習：A-44と合同）	
携 行 品	「令和5年版秋田県教育関係職員必携」	

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

A-44	中学校講師研修講座A	
研 修 の 目 標		対 象
教員としての心構えを身に付け、県内の公立学校に勤務する講師として必要な資質能力の向上を図る。		・秋田県の教員として初めて勤務する、今年度中学校に所属する講師（臨時）（他県教諭経験者、他校種での既受講者は除く） ・令和6年度の該当者で未受講者
日 時	研 修 内 容	
4 / 25 (金) 10:00～16:15	○教育公務員の服務(講義:A-43、A-47と合同) ○学校組織の一員として一組織人の基本ー(講義・演習:A-43、A-47と合同) ○授業づくりについて(講義・演習) ○人間関係づくりについて(講義・演習:A-43と合同)	
携 行 品	「令和5年版秋田県教育関係職員必携」	

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

研修コード E08-301

A-45	高等学校講師等研修講座A
研 修 の 目 標	対 象
教員としての心構えを身に付け、県内の公立学校に勤務する講師として必要な資質能力の向上を図る。	・秋田県の教員として初めて勤務する、今年度高等学校に所属する講師（臨時）、実習助手（臨時）（他県教諭経験者、他校種での既受講者は除く） ・令和6年度の該当者で未受講者
日 時	研 修 内 容
4 / 25 (金) 10:00～16:15	○教育公務員の服務（講義:A-47と合同） ○学校組織の一員として一組織人の基本ー（講義・演習:A-47と合同） ○授業づくりについて（講義・演習） ○人間関係づくりについて（講義・演習）
携 行 品	・「令和5年版秋田県教育関係職員必携」 ・「あきたのそこちから」（当センターウェブサイトから各自ダウンロード）

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

研修コード E08-302

A-46	特別支援学校講師等研修講座A	
研 修 の 目 標		対 象
教員としての心構えを身に付け、県内の公立学校に勤務する講師として必要な資質能力の向上を図る。		・秋田県の教員として初めて勤務する、今年度特別支援学校に所属する講師（臨時）、実習助手（臨時）、寄宿舍指導員（臨時）（他県教諭経験者、他校種での既受講者は除く） ・令和6年度の該当者で未受講者
日 時	研 修 内 容	
4 / 25 （金） 10:00～16:15	○教育公務員の服務（講義:A-47と合同） ○学校組織の一員として一組織人の基本ー（講義・演習:A-47と合同） ○特別支援学校における児童生徒理解（講義・演習）	
携 行 品	「令和5年版秋田県教育関係職員必携」	

連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

A-47	養護教諭(臨時)研修講座A	
研 修 の 目 標		対 象
教員としての心構えを身に付け、県内の公立学校に勤務する講師として必要な資質能力の向上を図る。		・秋田県の教員として初めて勤務する養護教諭(臨時) (他県養護教諭経験者は除く) ・令和6年度の該当者で未受講者
4/25 (金) 10:00～16:15	○教育公務員の服務(講義:A-43～A-46の該当する各校種と合同) ○学校組織の一員として一組織人の基本ー (講義・演習:A-43～A-46の該当する各校種と合同) ○学校保健活動について(講義・演習)	
携 行 品	「令和5年版秋田県教育関係職員必携」	

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

2 専 門 研 修 講 座（C講座）

○所属長の承認を得て、希望者が受講する研修講座です。

※以下、対象の「小学校」には義務教育学校の前期課程を、「中学校」には義務教育学校の後期課程、県立高等学校中等部をそれぞれ含みます。

※講座名に校種が明記されている講座は、明記されている校種についてのみ研修しますが、研修の機会を広げるため他校種の教員も対象にしている場合があります。他校種の指導について興味がある方は、是非ご参加ください。

※非常勤講師の受講に関しては、管理職と相談の上、申し込んでください。

研修コード F00-001

C-1	国語科における「書く力」を育む指導の工夫						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
国語科の「書くこと」の領域において、児童生徒の「書く力」を高めるための実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
8 / 1 (金) 10:00～16:15	○「書く力」を育む指導の工夫（講義・演習） 秋田大学大学院 教授 成田 雅樹				教科等指導力②④		
担当者からの メッセージ	本研修講座は国語科の「書く力」を高めるための授業づくりについて学びます。大学教授による専門的な視点からの講義、文種換えの指導、国語誤用の指導等、様々な校種の先生方との情報共有を通して、授業づくりのポイントについて体験的・実践的に研修し、日々の指導に生かすことのできる内容を目指します。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

研修コード F00-002

C-2	国語科における「読む力」を育む指導の工夫						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
国語科の「読むこと」の領域において、児童生徒の「読む力」を高めるための実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容					指標における主な項目	
7 / 4 (金) 10:00～16:15	○「読む力」を育む指導の工夫(講義・演習) 秋田大学 名誉教授 東京未来大学 特任教授 阿部 昇					教科等指導力②④	
担当者からの メッセージ	本研修講座は国語科の「読む力」を高めるための具体的な指導方法を、実践的に学ぶことができる講座です。児童生徒の「読む力」を向上させるために、何をどのように指導するべきか、教科書教材（今年度は文学的文章）を用いて具体的に検討し、先生方の日々の授業に直結する内容を目指します。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

研修コード F00-003

C-3	「話す力・聞く力」を育む指導の工夫		
研 修 の 目 標		対 象 と 定 員	
児童生徒の「話す力・聞く力」を高めるための実践的な研修を通して指導力の向上を図る。		幼保認	☐ 小 ☒ 中 ☐ 高 ☐ 特
		教諭、講師（臨時）、非常勤講師 20名	
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。		
日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
9 / 5 (金) 13:00～16:15	○「話す力・聞く力」を育む指導の工夫(講義・演習) 株式会社秋田放送アナウンス部 賀内 隆弘	教科等指導力②④	
担当者からのメッセージ	本研修講座は、「話す力・聞く力」を育む指導の工夫について学びます。アナウンサーによる専門的な視点からの講義や演習を取り入れ、様々な校種、教科の先生方と実践的に研修できる内容で構成します。午後からの半日の講座として実施しますので、多くの先生方の受講をお待ちしています。		

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-4	資質・能力の育成に向けた小学校社会科の授業づくり							
研 修 の 目 標				対 象 と 定 員				
社会科教育の在り方について認識を深めるとともに、資質・能力の育成に向けた指導方法の研修を通して、実践的な指導力を高める。				幼保認	小	中	高	特
				教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 12名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。							
日 時	研 修 内 容					指標における主な項目		
8 / 5 (火) 10:00～16:15	○資質・能力の育成に向けた小学校社会科の授業づくり (講義・演習)					教科等指導力②④		
携 行 品	・「小学校学習指導要領解説」社会編（平成29年、文部科学省） ・担当学年の社会科の教科書							
担当者からの メッセージ	小学校社会科において、児童の資質・能力の育成のためには、どのようなことに気を付けて授業づくりをしていけばよいのかについて学びます。また、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に関わる視点を取り入れた授業づくりについて、概論と実践例の紹介を含む講義に加え、実際の授業や単元等を構想する演習を行います。							

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-5	資質・能力の育成に向けた中学校社会科の授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
社会科教育の在り方について認識を深めるとともに、資質・能力の育成に向けた指導方法の研修を通して、実践的な指導力を高める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 12名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
8 / 6 (水) 10:00～16:15	○資質・能力の育成に向けた中学校社会科の授業づくり (講義・演習)				教科等指導力②④		
携 行 品	・「中学校学習指導要領解説」社会編（平成29年、文部科学省） ・担当学年の社会科の教科書						
担当者からの メッセージ	中学校社会科において、生徒の資質・能力の育成のためには、どのようなことに気を付けて授業づくりをしていけばよいのかについて学びます。また、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に関わる視点を取り入れた授業づくりについて、概論と実践例の紹介を含む講義に加え、実際の授業や単元等を構想する演習を行います。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-6	資質・能力の育成に向けた高等学校地歴・公民科の授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
地歴・公民科教育の在り方について認識を深めるとともに、資質・能力の育成に向けた指導方法の研修を通して、実践的な指導力を高める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、非常勤講師 12名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
9 / 25 (木) 10:00～16:15	○資質・能力の育成に向けた高等学校地歴・公民科の授業づくり(講義・演習)				教科等指導力②④		
	○中・高の接続を意識した授業づくりの実際(講義・演習)				教科等指導力②④		
携 行 品	・「高等学校学習指導要領解説」地理歴史編（平成30年、文部科学省） ・「高等学校学習指導要領解説」公民編（平成30年、文部科学省） ・自校で使用している担当教科の教科書						
担当者からのメッセージ	高等学校地歴・公民科において、生徒の資質・能力の育成のためには、どのようなことに気を付けて授業づくりをしていけばよいのかについて学びます。授業づくりのポイントについて実践的・体験的に研修し、講座の最後には実際の授業を構想する演習を行います。先生方の日々の指導に生かすことのできる内容となっています。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

研修コード F00-007

C-7	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた算数科の授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた算数科の授業づくりの研修を通して、実践的指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 20名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
7 / 31 (木) 10:00～16:15	○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた算数科の授業づくり(講義・演習)				教科等指導力②④		
	○算数科における主体的・対話的で深い学びの実践(講義・演習)				教科等指導力②④		
携 行 品	・「小学校学習指導要領解説」算数編（平成29年、文部科学省） ・担当している学年の算数科の教科書						
担当者からのメッセージ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた算数科の授業づくりをサポートする講座です。講義・演習等における先生方の対話を重視し、授業を構想したり、具体的な実践を考えたりすることを通して、実践的指導力の向上を目指します。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-8	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた中学校数学科の授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた中学校数学科の授業づくりの研修を通して、実践的指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 20名				
受講申込に当たって		定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。					
日 時		研 修 内 容			指標における主な項目		
6 / 27 (金) 10:00～16:15		○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた中学校数学科の授業づくり(講義・演習)			教科等指導力②④		
		○中学校数学科における主体的・対話的で深い学びの実際(講義・演習)			教科等指導力②④		
携 行 品		・「中学校学習指導要領解説」数学編（平成29年、文部科学省） ・担当している学年の数学科の教科書					
担当者からの メッセージ		主体的・対話的で深い学びの実現に向けた中学校数学科の授業づくりをサポートする講座です。講義・演習における先生方の対話を重視し、授業を構想したり、具体的な実践を考えたりすることを通して、実践的指導力の向上を目指します。					

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-9	高等学校数学科の授業づくり 〔オンライン研修〕						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた高等学校数学科の授業づくりを目指し、指導法、教材研究、教育機器の活用等の研修を通して、実践的指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 15名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容			指標における主な項目			
9/26 (金) 13:30～16:00 [オンライン実施]	○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた高等学校数学科の授業づくり(講義・協議・演習)			教科等指導力②④			
携 行 品	携行品等については、受講者に別途連絡する。						
備 考	・センターに集合せず、オンラインにより実施する。 ・受講に当たり、次の機器の準備をすること。 ①ネットワークに接続できるZoom用のパソコン（有線LANでの接続） ※通信環境は事前に確認しておいてください。 ②クラスルーム用のChromebook又はパソコン ※①のパソコンとは別に準備してください。 ※e-akitaのアカウントが準備できない場合は、申込み後に必ず、電子メールまたは電話で相談してください。 連絡先e-mail：subject-research@e-akita.ed.jp						
担当者からの メッセージ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた高等学校数学科の授業づくりのヒントが得られる講座です。受講者、教育専門監、総合教育センターをオンラインでつなぎ、受講者同士の対話を重視しながら研修します。オンラインでの演習や協議などを通して、指導の幅を広げることを目指します。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-10	児童が問題を科学的に解決する小学校理科の授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
児童が問題を科学的に解決する授業となるよう、単元や授業をデザインする演習を行ったり、教材製作や観察、実験を行ったりすることを通して、小学校理科の授業づくりについて理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 18名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
7/31 (木) 10:00～16:15	○児童が問題を科学的に解決する授業づくり (講義・製作・演習)				教科等指導力②④		
携 行 品	・「小学校学習指導要領解説」理科編（平成29年、文部科学省） ・その他携行品がある場合は、担当から受講者に連絡する。						
担当者からの メッセージ	児童の自律的な学習活動を支援するための教材製作や教材開発、それらの教材を使う授業づくりについて一緒に考えます。 今年度は主に「エネルギー」を柱とした内容の中から「電気・電流」を中心に扱います。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-11	生徒が科学的に探究する中学校理科の授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
生徒が科学的に探究する授業となるよう、単元や授業をデザインする演習を行ったり、教材製作や観察、実験を行ったりすることを通して、中学校理科の授業づくりについて理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 18名				
受講申込に当たって		定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。					
日 時		研 修 内 容				指標における主な項目	
6/26 (木) 10:00～16:15		○生徒が科学的に探究する授業づくり(講義・製作・演習)				教科等指導力②④	
携 行 品		・「中学校学習指導要領解説」理科編（平成29年、文部科学省） ・その他携行品がある場合は、担当から受講者に連絡する。					
担当者からの メッセージ		生徒の自律的な学習活動を支援するための教材製作や教材開発、それらの教材を使う授業づくりについて一緒に考えます。 今年度は主に、第3学年の「エネルギー」を柱とした内容について、令和7年度使用教科用図書に新たに示された実験方法を通して考えます。					

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-12	生徒が科学的に探究する高等学校理科の授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
生徒が科学的に探究する授業となるよう、単元や授業をデザインするために必要な、自然の事物・現象についての専門的な知識を身に付け、高等学校理科の授業づくりについて理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、非常勤講師、理科実習助手 12名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
7 / 25 (金) 10:00～16:15	○生徒が科学的に探究する教材の工夫や授業の構想<地学分野>(講義・演習) ○病原体の宿主細胞における多彩な生存戦略(講義) 東京薬科大学生命科学部 教授 新崎 恒平 ○生徒が科学的に探究する教材の工夫や授業の構想<生物分野>(講義・演習)				教科等指導力②④ 教科等指導力②④ 教科等指導力②④		
携 行 品	・「高等学校学習指導要領解説」理科編・理数編（平成30年、文部科学省） ・その他携行品がある場合は、担当から受講者に連絡する。						
備 考	新崎恒平教授の講義は、オンラインでの受講となります。						
担当者からのメッセージ	令和7年度は、地学分野・生物分野に関する研修内容です。生徒が科学的に探究することを支援する授業づくりについて、協議や演習を通し考えます。 地学分野では、「科学と人間生活」の「(2) 人間生活の中の科学 ア (エ) 宇宙や地球の科学」における宇宙分野に焦点を当てます。 生物分野では、「生物基礎」の「(2) ヒトの体の調節 ア (イ) 免疫」に焦点を当てます。新型コロナウイルス感染症等の病原菌やウイルスが、どのようにして宿主細胞の機能をハイジャックしているのかについて、最先端の研究を交えながら、東京薬科大学 新崎恒平教授から高校生でも考えやすい内容で講義していただきます。生物が専門ではない方も楽しめます。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-13	気付きの質を高める生活科の授業づくり				
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員		
教科「生活」の目標及び内容を具現化する授業づくりについての実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。			幼保認	小	中
			高	特	
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師、幼稚園教諭、 保育士、保育教諭 15名		
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。				
日 時	研 修 内 容			指標における主な項目	
9 / 5 (金) 10:00～16:15	○生活科の授業に生かす幼児期の育ちと学び (講義・協議) 秋田大学教育文化学部 教授 山名 裕子 ○気付きの質を高める生活科の授業づくり (講義・協議・演習)			教科等指導力①②④ <	

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-14	伝え合う力の素地・基礎を養う小学校外国語教育					
研 修 の 目 標		対 象 と 定 員				
外国語活動及び外国語科の実践的な指導法についての研修を通して、伝え合う力の素地・基礎を養う授業構想への理解を深める。		幼保認	小	中	高	特
		教諭、講師（臨時）、非常勤講師 20名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。					
日 時	研 修 内 容			指標における主な項目		
7/25 (金) 10:00～16:15	○“Let’s Try!”, 教科書を活用した活動例 (講義・演習)			教科等指導力①		
	○“Let’s Try!”, 教科書をALTと共に活用した活動例 (講義・演習)			教科等指導力①		
	○コミュニケーション活動の実際(演習)			教科等指導力①②		
携 行 品	・「小学校学習指導要領解説」外国語活動・外国語編（平成29年、文部科学省） ・“Let’s Try！ 1、2”及び指導編（平成30年、文部科学省） ・自校で使用している教科書					
担当者からの メッセージ	小学校の授業ですぐに使える、学級担任等が単独で行える活動やALTとチームで行うアクティビティを体験しながら、学習指導要領外国語活動・外国語科の目標達成に向けた授業のポイントについて共有します。特別支援学校の先生、中学校外国語科の先生の受講もお待ちしております。					

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

研修コード F00-015

C-15	「話す力」、「書く力」を育む英語科の授業						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
外国語科（英語科）の「話すこと」、「書くこと」それぞれの技能を高めるための実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 20名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
6 / 26 (木) 10:00～16:15	○「話す力」を育む授業のアイデアとポイント（講義・演習）				教科等指導力①②		
	○「書く力」を育む授業のアイデアとポイント（講義・演習）				教科等指導力①②		
携 行 品	・ 所属する校種の「学習指導要領解説」外国語編または外国語編英語編（中学校は平成29年、高等学校は平成30年、文部科学省） ・ 自校で使用している教科書						
担当者からの メッセージ	「話すこと」「書くこと」の指導の更なる充実に向け、先生方のふだんの実践や他県等の好事例を共有し、授業づくりの工夫や指導のポイントについて考えます。また、複数領域を効果的に関連付ける統合的な言語活動の具体について、演習を交えながら実践的に研修を深めます。 教科書で扱う内容や言語材料が多く、指導に不安や難しさを感じている先生方への、授業づくりのヒントとなる研修を目指します。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-16		JTE English Workshop					
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
英語によるやり取り等の体験を通して、英語の授業を担当する教員の英語運用能力の向上を図る。			幼保認	☐ 小	☒ 中	☐ 高	☐ 特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 A、B各20名				
受講申込に当たって		・ 所属する校種により、A【中学校、高等学校等】又はB【小学校、特別支援学校等】のいずれか一方のコースを選択して申し込むこと。 なお、自身の校種とは異なるコースを希望する場合は、事前に担当まで連絡すること。 ・ 定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。					
日 時	コース	研 修 内 容			指標における主な項目		
7 / 4 (金) 10:00～16:15	A	【中学校、高等学校等】 ○話すこと[やり取り]体験(演習) ○ディベート体験(演習)			教科等指導力① 教科等指導力①		
	B	【小学校、特別支援学校等】 ○話すこと[やり取り]体験(演習) ○“Let's Try!”や小学校外国語科の教科書のトピックに沿った英語発信体験(演習)			教科等指導力① 教科等指導力①		
担当者からの メッセージ		今年度は、A、Bの2コースで、英語によるスキルトレーニングを行います。 Aコースは、英語を専門とする先生方、Bコースは英語が専門ではないが小学校や特別支援学校等で英語を担当している先生方を主な対象として、研修を深めます。自身の所属校種とは異なるコースで学びを深めたいという先生方の受講も大歓迎ですので、不明な点がある方は、担当までお気軽にお問い合わせください。 受講者同士やALTとの「聞くこと」「書くこと」「やり取り」を中心に、1日を通して英語に浸ることで先生方の英語力に磨きをかける機会にしたいと思います。					

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

研修コード F00-017

C-17	児童生徒が創意工夫して表現する音楽科の授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
児童生徒が創意工夫して音楽表現するための授業づくりを目指し、演奏や創作、鑑賞の体験を通して、実践的な指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 15名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
8/19 (火) 10:00～16:15	○「表現する力・聴く力」を育む授業づくり(講義・演習) 山形大学地域教育文化学部 教授 佐川 馨				教科等指導力①②④		
携 行 品	携行品がある場合は、担当から受講者に連絡する。						
担当者からの メッセージ	「学びのつながり」をテーマに、児童生徒が感性を働かせ、他者と協働しながら楽しく音楽活動に取り組むための授業づくりについて学びます。実際に演奏したり創作したりする時間を増やし、先生方が音楽により近づき、音楽の楽しさを実感できる実践的・体験的な研修を目指します。様々な校種の先生方と共に楽しい音楽の旅に出掛けましょう。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-18	子どもが生き生きと活動する「造形遊び」						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
身近にある自然物や、人工物の材料、その形や特徴などから思いついた造形活動を行うなどの体験を通して、子どもが主体的・創造的に活動しながら資質・能力を身に付ける、造形遊びの授業づくりについて理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、非常勤講師、幼稚園教諭、保育士、保育教諭 18名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容			指標における主な項目			
7 / 4 (金) 10:00～16:15	○子どもが生き生きと活動する「造形遊び」の授業づくり (講義・演習) ○「造形遊び」の実際 (講義・演習)			教科等指導力①②④ 教科指導力①②④			
携 行 品	・「小学校学習指導要領解説」図画工作編（平成29年、文部科学省） ※幼稚園・保育所・認定こども園等は不要 ・自校で使用している教科書 ※担当学年のもの。幼稚園・保育所・認定こども園等は不要 ・演習時の汚れ対策用の服装（絵の具等を使用） ・演習で製作した作品を撮影するためのデジタルカメラ等						
担当者からの メッセージ	子どもの立場で「造形遊び」を体験することで、子ども一人一人を主語にした学びの具体や、授業づくりのポイントについて理解を深めます。日頃の実践や、子どもの様子などについて交流しながら、「造形遊び」の教育的意義や指導上の留意点について考えていきましょう。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

研修コード F00-019

C-19	育成する資質・能力から考える図画工作科の授業						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
教科「図画工作」の目標及び内容を具現化する授業づくりについての実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 18名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
6 / 20 (金) 10:00～16:15	○育成する資質・能力から考える図画工作科の授業づくり (講義・協議・演習)				教科等指導力①②④		
携 行 品	・「小学校学習指導要領解説」図画工作編（平成29年、文部科学省） ・「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 図画工作（令和2年、文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター） ・自校で使用している教科書（担当学年のもの） ・演習等の汚れ対策用の服装（絵の具等を使用） ・演習で製作した作品を撮影するためのデジタルカメラ等						
担当者からの メッセージ	育成を目指す資質・能力から、図画工作科の授業づくりのポイントについて、実践的に理解を深めます。児童の立場で表現や鑑賞の演習を体験することで、児童が主体的に取り組み、自身の学びを実感することができる授業の具体、授業展開などについて考えていきましょう。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-20	ICTを活用した図画工作科、美術科の授業づくり ー「メタバース×キンビ」による鑑賞活動ー						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
県立近代美術館「メタバース×キンビ」を活用した授業づくりの研修を通して、「B鑑賞」の指導における I C Tの効果的な活用や、美術館との連携について理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 18名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
10／2 (木) 10:00～16:15	○「メタバース×キンビ」による鑑賞活動（講義・演習） ○ICTを活用した図画工作科・美術科・芸術科(美術)の授業づくり(講義・協議・演習)				教科等指導力①②④ 教科等指導力①②④		
携 行 品	・ 所属する校種の「学習指導要領解説」図画工作編、美術編、芸術編（小・中学校は平成29年、高等学校は平成30年、文部科学省） ・ 自校で使用している教科書 ・ その他携行品がある場合は、担当から受講者に連絡する。						
担当者からの メッセージ	I C Tを活用した効果的な鑑賞指導の進め方について、最新のデジタル技術で構築された仮想近代美術館「メタバース×キンビ」（令和6年4月公開）の実機体験（VR）を行いながら研修できる貴重な機会です。 「メタバース×キンビ」による鑑賞活動のコマは全校種合同で、その後、小・中学校、高等学校の2グループに分かれ、授業づくりの具体について考えます。児童生徒の見方や感じ方を深めることを目指した鑑賞活動について、理解を深めましょう。						

C-21	幼児児童の基本的な動きづくりの指導 ー子どもの体力向上につながる授業づくりー						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
幼児児童が楽しみながら基本的な動きを身に付けられる活動や、「運動の日常化」につなげるための指導のポイントについての研修を通して、指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員、幼稚園教諭、保育士、保育教諭 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
9 / 26 (金) 10:00～16:15	○子どもの基本的な動きづくり(講義・演習) ○子どもの基本的な動きづくりに関する指導のポイントと実践例(協議・演習) 聖霊女子短期大学 講師 藤田 洋子				教科等指導力②④ 教科等指導力②④		
携 行 品	運動着、屋内用シューズ						
担当者からの メッセージ	子どもたちが夢中になって体を動かす運動遊びを構想することを通して、子どもの体力向上につながる活動例やその指導のポイントについて考える講座です。子どもの心身の発達をサポートするための知識とスキルが身に付きます。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

研修コード F00-022

C-22	保健体育科授業(ダンス)の充実						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
教科「保健体育」の目標及び内容を具現化する授業づくりの研修を通して、指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時） 非常勤講師 15名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
6 / 20 (金) 10:00～16:15	○これからの保健体育科(ダンス)の授業づくり (講義・実技) 秋田大学教育文化学部 准教授 松本 奈緒				教科等指導力②④		
携 行 品	・ 中学校は「学習指導要領解説保健体育編」、高等学校は「学習指導要領解説保健体育編 体育編」（中学校は平成29年、高等学校は平成30年、文部科学省） ・ 運動着、屋内用シューズ						
担当者からの メッセージ	生徒の興味関心を引き出す多様なダンスや、ICTを活用したダンス授業の実践例を通して、踊ることの楽しさを味わうことができる講座です。授業づくりのヒントとなる豊富なアイデアに触れ、指導力の向上を図りましょう。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

研修コード F00-023

C-23	資質・能力の育成に向けた授業づくり －中学校技術・家庭科(技術分野)－						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
中学校技術・家庭科（技術分野）における「生活を工夫し創造する資質・能力」の育成に向けた、題材構想や授業展開の工夫などについて理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 8名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
10/30 (木) 10:00～16:15	○題材構想と授業づくりのポイント(講義・協議・演習)				教科等指導力①②④		
	○力学的な機構モデルの設計・製作(実習)				教科等指導力①		
	○計測・制御システムの構想とプログラミング(実習) 東京学芸大こども未来研究所 専門研究員 田中 若葉				教科等指導力①		
携 行 品	・「中学校学習指導要領解説」技術・家庭編（平成29年、文部科学省） ・その他携行品がある場合は、担当から受講者に連絡する。						
担当者からの メッセージ	小・中・高等学校の内容の系統性を踏まえた授業づくりについて、協議や実習を交えて研修します。主に、力学的な機構モデルの設計・製作と計測・制御のプログラミングを体験しながら、技術分野で育成を目指す資質・能力と学習過程を視点に題材計画について考えます。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-24	資質・能力の育成に向けた授業づくり －中学校技術・家庭科(家庭分野)－						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
中学校技術・家庭科(家庭分野)における「生活を工夫し創造する資質・能力」の育成に向けた題材構想や授業展開の工夫について、実践的・体験的な研修を通して理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師(臨時)、 非常勤講師 8名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容					指標における主な項目	
8/21 (木) 10:00～16:15	○学習指導要領の趣旨を踏まえた、中学校技術・家庭科(家庭分野)の授業づくり(講義・演習) ○内容「B衣食住の生活」における「和服」の指導 －きものの着装－(協議・実習) 大島きもの学院 大島 幸子					教科等指導力①②④ 教科等指導力②	
携 行 品	・「中学校学習指導要領解説」技術・家庭編(平成29年、文部科学省) ・きものの着装に係る携行品(浴衣、帯、腰紐など)の詳細は、担当から受講者に連絡する。						
担当者からの メッセージ	学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりの具体について、演習や協議、実習等を通して考えます。また、グローバル化に対応して内容の充実が図られた「B衣食住の生活」における和服の基本的な着装について、和装の専門家から直接御指導いただく時間を設定しました。 日々の授業づくりに悩みや不安を感じている先生方の、明日からの授業実践のヒントになるような研修を目指します。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-25	資質・能力の育成に向けた授業づくり —高等学校家庭科—						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
高等学校家庭科における「家庭や地域の生活を創造する資質・能力」の育成に向けた、単元構想や授業づくり、授業展開の工夫などについて理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 8名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
5 / 20 (火) 10:00～16:15	○学習指導要領の趣旨を踏まえた、高等学校家庭科の授業づくり(講義・協議)				教科等指導力①②④		
	○資質・能力の育成に向けた高等学校家庭科の授業の実際(講義・協議・演習) SMBCコンシューマーファイナンス株式会社 仙台お客様サービスプラザ プラザ長 横山 良和 主幹 氏家 充				教科等指導力②④		
	○単元構想及び指導計画の作成(協議・演習)				教科等指導力①②		
携 行 品	・「高等学校学習指導要領解説」家庭編（平成30年、文部科学省） ・その他携行品がある場合は、担当から受講者に連絡する。						
担当者からの メッセージ	資質・能力の育成に向けた授業づくりのポイントや単元構想等について、協議・演習を交えて考えます。また、金融教育に関する授業で使える教材を活用しながら小・中・高の系統性を意識した授業展開の具体について、実践的・体験的に研修を深めます。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-26	中学校免許外教科担任研修講座						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
当該教科における学習指導の基礎理論と基本的な授業展開の方法等について理解を深め、指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			免許外教科を担当している中学校教諭24名 (美術8名、技術分野8名、家庭分野8名)				
受講申込に当たって	・受講希望者は、当センターウェブサイトから、「C-26 担当教科等調査用紙」(エクセルシート)をダウンロードし、必要事項を記入の上、申込手続の際に別途担当に送付すること。 [送付先メールアドレス:kouza@akita-c.ed.jp] ・定員超過等の場合のみ、提出されたエクセルシートの記載事項を基に受講者を選定し、受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容					指標における主な項目	
5 / 9 (金) 10:00～16:15	○学習指導要領の要点(講義) ○学習指導の実際(実技・実習・協議) ○評価の具体(講義・協議)					教科等指導力① 教科等指導力②④ 教科等指導力②	
携 行 品	・受講する教科の「中学校学習指導要領解説」(平成29年、文部科学省) ・自校で使用している当該教科の教科書 [美術] ・着替え(作業着)※美術の授業時に着用するもので可 ・授業で生徒が使用するものと同じ水彩絵の具セット ※ポスターカラー、アクリル絵の具も可 [技術] ・着替え(作業着)※技術分野の授業時に着用するもので可 ・鉛筆、消しゴム(けがき用)						
担当者からのメッセージ	学習指導の基礎理論のほか、教科の特性に応じた実技・実習・協議を取り入れた研修内容とし、免許外で美術、技術・家庭を担当している先生方の日々の学習指導や授業づくり等をサポートします。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-27	「主体的・対話的で深い学び」のある道徳科の授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
「主体的・対話的で深い学び」のある道徳授業の実現に向けた実践的な研修を通して、指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
9 / 16 (火) 10:00～16:15	○「主体的・対話的で深い学び」のある道徳授業づくり (講義・演習) 秋田公立美術大学 副学長 毛内 嘉威				教科等指導力①②		
	○「主体的・対話的で深い学び」のある道徳授業の実際 (講義・演習) 秋田公立美術大学 副学長 毛内 嘉威				教科等指導力①②		
携 行 品	所属する校種の「学習指導要領解説」特別の教科 道徳編 (平成29年、文部科学省)						
担当者からの メッセージ	先生方が具体的なイメージをもって日々の指導に当たることができるよう、授業を構想する際に大切にすることや多様な指導方法の工夫について学びます。講義とマイクロティーチング方式による演習を織り交ぜた実践的・体験的な研修です。道徳科における「主体的・対話的で深い学び」のある授業づくりについて、共に考えましょう。						

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

C-28	学級活動(1)の授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
学級活動に関する基礎的・基本的内容について理解し、学級活動(1)の充実に向けて、実践的な授業づくりについて学ぶ。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師(臨時)20名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容					指標における主な項目	
7 / 8 (火) 10:00~15:15	○魅力ある学級活動(1)を目指して(講義・演習)					教科等指導力①②	
	○学級活動(1)の授業づくり(協議・演習)					教科等指導力①②	
携 行 品	所属する校種の「学習指導要領解説」特別活動編(平成29年、文部科学省)						
担当者からの メッセージ	「魅力ある学級活動(1)を目指して」では、特別活動と学級活動の目標を確認しながら、学級活動(1)活性化のポイントを考えてみましょう。 「学級活動(1)の授業づくり」では、授業プランを作成する演習を通して、児童生徒の実態に合った授業づくりのヒントを探ります。 「話し合いがまとまらない」「いつも多数決になってしまう」など、学級会に苦手意識をもっている先生はいませんか? 演習や情報交流の時間が多めの講座です。学級経営の充実を図るために重要な役割を果たす、学級活動(1)の授業づくりについて一緒に考えてみましょう。						

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

C-29	魅力ある学級活動(3)を目指して						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
学級活動に関する基礎的・基本的内容について理解し、学級活動(3)の充実に向けて、実践的な授業づくりについて学ぶ。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師(臨時)20名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容					指標における主な項目	
6/27 (金) 10:00~16:15	○魅力ある学級活動(3)を目指して(講義・演習)					教科等指導力①②	
	○公開講演「特別活動を要としたキャリア教育の推進」 (A-33、A-34、C-30と合同) 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 長田 徹					教科等指導力①	
	○学級活動(3)の授業づくり(協議・演習)					教科等指導力①②	
携 行 品	所属する校種の「学習指導要領解説」特別活動編(平成29年、文部科学省)						
担当者からの メッセージ	「魅力ある学級活動(3)を目指して」では、特別活動と学級活動の目標を確認しながら、学級活動(3)活性化のポイントを考えてみましょう。また、長田徹教科調査官を講師に迎え、キャリア教育について特別活動を要とした取組について具体例を交えてお話いただき、理解を深めます。 「学級活動(3)の授業づくり」では、授業プランを作成する演習を通して、児童生徒の実態に合った授業づくりのヒントを探ります。 演習や情報交流の時間が多めの講座です。キャリア教育の要として重要な役割を果たす、学級活動(3)の授業づくりについて一緒に考えてみましょう。						

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

C-30	キャリア教育の視点を踏まえた授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
キャリア教育の充実に向けての方向性や組織的・系統的なキャリア教育の進め方を理解し、キャリア教育の視点を踏まえた授業づくりのポイントについて学ぶ。			幼保認	小	中	高	特
			教諭 16名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容					指標における主な項目	
6 / 27 (金) 10:00~16:15	○キャリア教育の進め方(講義・演習)					教育課題への対応①	
	○公開講演「特別活動を要としたキャリア教育の推進」 (A-33、A-34、C-29と合同) 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 長田 徹					教育課題への対応①	
	○キャリア教育推進のために(協議・演習)					教育課題への対応①	
担当者からの メッセージ	「各教科等の学習がキャリア教育とどのようにつながっているの?」「キャリア教育の推進のために各教科等では実際どのようなことに取り組めばいいの?」と悩んでいる先生方にお勧めの講座です。キャリア教育の要とされる特別活動との関連を踏まえ、児童生徒のキャリア発達を促すための各教科等の授業づくりについて一緒に考えましょう。 また、長田徹教科調査官を講師に迎え、キャリア教育について特別活動を要とした取組について具体例を交えてお話いただき、理解を深めます。						

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

C-31	救急に役立つ応急手当						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
幼児児童生徒の突然の事故や病気などに対する新しい知識や、AEDによる除細動の正確な手順を学ぶ研修を通して、正しい応急手当の仕方について理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員、幼稚園教諭、保育士、保育教諭 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
5 / 19 (月) 10:00～16:15	○応急手当の基礎(講義) 秋田大学大学院医学系研究科 准教授 奥山 学 ○応急手当の実際(講義・実習) ○AEDを用いた応急手当の実際(講義・実習)				マネジメント能力④ マネジメント能力④ マネジメント能力④		
携 行 品	応急手当等の実技に適した動きやすい服装、屋内用シューズ						
備 考	当センターへの受講申込とは別に、 <u>5月8日（木）までに①②の内容をメールで必ず送ること。</u> ①本人氏名（ふりがな）※普通救命講習Ⅱの修了証発行に使用されます。 ②緊急時の応急手当や対応方法についての講師への質問 ※任意とする。 〔送付先〕 E-mail ckyk@akita-c.ed.jp						
担当者からの メッセージ	救急医療の専門医や消防署員を講師に迎え、学校や園での救命救急場面に必要な知識や技術を身に付けることができます。また、受講者から事前に質問を受け付け回答を講義内容に取り入れ助言いただきます。講義・実習、それらを踏まえた確認テストを経て、普通救命講習Ⅱの資格を取得することができる講座です。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C-32	発達の段階に応じた情報モラル教育の理解と実践 〔オンライン研修〕						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
情報教育の現状と課題を理解し、生きて働く知恵を磨く情報モラル教育を系統的・継続的に進めることができるよう指導力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員、幼稚園教諭、保育士、保育教諭 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
9 / 4 (木) 11:00～16:15 [オンライン実施]	○情報モラル教育の現状と情報活用能力の育成について (講義・協議) ○公開講演「1人1台端末環境に求められる情報活用能力としての情報モラル教育」(C-33と合同) 静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾				教育課題への対応⑤ 教育課題への対応⑤		
備 考	センターに集合せず、オンラインにより実施する。						
担当者からの メッセージ	教科等横断的な視点をもちながら、学校全体で情報モラル教育を系統的に進めていくことが求められています。情報教育の現状と課題を理解し、授業や学級活動等を活用しながら、適切な判断ができる児童生徒の育成を図ることができるよう、情報モラル教育について考えます。公開講演では、一般財団法人LINEみらい財団と塩田准教授が共同開発した、小・中・高校生向け活用型情報モラル教材「GIGAワークブック」の内容を基に、児童生徒が様々な課題を自分事として考えることができるよう、演習を交えながら具体的な手立てについて知ることができます。						

連絡先：研修チーム 情報教育担当 TEL (018)873-7204

C-33	生成AIやデジタルツールを活用した授業づくり						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
生成A Iや各種デジタルツールの基本的な利用方法について理解を深め、授業づくりに生かすI C T活用力の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員、幼稚園教諭、保育士、保育教諭 20名				
受講申込に当たって	・各校から1名までとする。 ・定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
9 / 4 (木) 10:00～16:15	○生成AIについて(講義)				教科等指導力①②		
	○生成AIやデジタルツールを利用した授業づくり(演習)				教科等指導力①②		
	○公開講演「1人1台端末環境に求められる情報活用能力としての情報モラル教育」(C-32と合同) 静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾				教育課題への対応⑤		
携 行 品	U S B等の媒体を利用する場合は、未使用の物が必ずウイルスチェックを行った媒体を持参する。						
備 考	・使用ソフト名 … Google Gemini、NotebookLM、Canva 等 ・公開講演はオンラインによる講義。						
担当者からの メッセージ	文章案の作成や授業プリントの原案作成等、校務や授業に役立つ生成A Iの活用とG I G A端末等のデジタルツールの活用ポイントについて研修します。I C Tを活用した深い学びにつながる授業づくりを目指しましょう。						

連絡先：研修チーム 情報教育担当 TEL (018)873-7204

C-34	基礎的な動画編集とその活用						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
動画に関する知識と操作方法の基礎を学び、授業等に活用できる動画編集技能の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員、幼稚園教諭、保育士、保育教諭 20名				
受講申込に当たって	・各校から1名までとする。 ・定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
7 / 25 (金) 10:00～16:15	○動画編集の基礎知識(講義)				教育課題への対応⑤		
	○動画編集 基礎編①(演習)				教育課題への対応⑤		
	○動画編集 基礎編②(演習)				教育課題への対応⑤		
携 行 品	U S B等の媒体を利用する場合は、未使用の物か必ずウイルスチェックを行った物を持参する。						
備 考	使用ソフト名 … Clipchamp OBS Studio 等						
担当者からの メッセージ	教育活動において授業動画等が広く活用されるようになり、一度、学習用動画を作成すれば、児童生徒が何度も見返して理解を深めることができるなどの利点があります。授業動画作成に興味はあるけれども難しそうだと考えている方に向けて動画の作り方や作成手順に加えて、制作・編集のポイントなど、基礎的な内容について扱います。						

連絡先：研修チーム 情報教育担当 TEL (018)873-7204

C-35	論理的思考力を育む小学校プログラミング教育						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
小学校プログラミング教育についての理解を深めるとともに、その実践的な知識と技術を身に付ける。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 20名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
7 / 15 (火) 10:00～16:15	○小学校プログラミング教育の要点(講義・演習)				教科等指導力①②		
	○各種ツールを用いたプログラミング教育(演習)				教科等指導力①②		
	○教科等における小学校プログラミング教育の進め方 (講義・演習)				教科等指導力①②④		
携 行 品	U S B等の媒体を利用する場合は、未使用の物が必ずウイルスチェックを行った物を持参する。						
担当者からの メッセージ	小学校プログラミング教育について、そのねらいや育成する資質・能力について理解し、児童の「プログラミング的思考」を育む授業づくりについて、実習を通して研修します。						

連絡先：研修チーム 情報教育担当 TEL (018)873-7204

C-36	発達の段階に即したプログラミング演習		
研 修 の 目 標		対 象 と 定 員	
小・中・高におけるプログラミングについて、基礎的な理解を深めるとともに、実践を通じて知識と技術を身に付ける。		幼保認	☐ 小 ☒ 中 ☐ 高 ☐ 特
		教諭、講師（臨時）、非常勤講師 20名	
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。		
日 時	研 修 内 容	指標における主な項目	
7 / 1 (火) 10:00～16:15	○発達の段階に即したプログラミング演習について(講義) ○ビジュアルプログラミングの演習(演習) ○コード入力でのプログラミング演習(演習)	教科等指導力①② 教科等指導力①② 教科等指導力①②	
携 行 品	・USB等の媒体を利用する場合は、未使用の物が必ずウイルスチェックを行った物を持参する。 ・令和7年度学校教育の指針（電子データ可）		
担当者からのメッセージ	小・中学校及び高等学校では、全ての児童生徒がプログラミングを学ぶようになりました。各教科や総合的な学習（探究）の時間等においてもプログラミングを活用する場面が想定されます。今まで興味をもっていたけれど、取り組むことができなかった方も、この機会にプログラミングの基礎に触れてみてください。実習の内容は、初歩から始め、授業での活用のヒントになるようなプログラムを作ります。		

連絡先：研修チーム 情報教育担当 TEL (018)873-7204

C－37		学校におけるICT活用の基礎						
研 修 の 目 標				対 象 と 定 員				
I C Tの活用方法について理解を図るとともに、機器操作等について基礎的な知識と技術を身に付ける。				幼保認	小	中	高	特
				教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舎指導員、幼稚園教諭、保育士、保育教諭 A、B各20名				
受講申込に当たって		・ A又はBのいずれかを選択して申し込むこと。 ・ 各校から1名までとする。 （同一校から、A、B各1名、最大2名申し込むことが可能）						
回	日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
A	8 / 19 (火) 10:00～16:15	【Google Workspace】 OICT並びにコラボレーションツールの活用場面と方法 (講義)				教育課題への対応⑤		
		OICT並びにコラボレーションツールの基本的な操作・活用 (講義・演習)				教育課題への対応⑤		
		O生成AIの活用場面と基本的な操作(講義・演習)				教育課題への対応⑤		
B	8 / 20 (水) 10:00～16:15	【Microsoft 365】 Aと同内容						
担当者からの メッセージ		「生成A Iの活用場面と基本的な操作」のAでは、Google Gemini、BではMicrosoft Copilotを使用します。 機器操作やコラボレーションツールの活用に不安を感じている方、改めて学びたい方に向けた講座です。I C Tについての基本的な操作方法と活用について、演習中心に研修します。						

連絡先：研修チーム 情報教育担当 TEL (018)873-7204

C-38	高等学校情報科における指導の充実						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
高等学校情報科について理解を深めるとともに、その実践的な知識と技術を身に付ける。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 20名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
6 / 17 (火) 10:00～16:15	○情報Ⅰ・情報Ⅱの要点(講義)				教科等指導力①②		
	○データ活用とBIツール(演習)				教科等指導力①②		
	○データサイエンスと探究的な学び(講義・演習)				教科等指導力①②		
携 行 品	・「高等学校学習指導要領解説」情報編（平成30年、文部科学省） ・高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修教材 ※どちらも電子データ可						
担当者からの メッセージ	新たな学習内容を中心に情報科の指導について理解を深めます。情報科の授業担当者、情報免許所有者のほか、情報科の指導に関心のある先生方の受講もお待ちしております。						

連絡先：研修チーム 情報教育担当 TEL (018)873-7204

C-39	いじめの理解と対応						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
いじめに関する諸課題に対応するために、必要な理論及び実践の在り方等について理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容					指標における主な項目	
5/20 (火) 12:30～16:15	○危機管理、保護者対応、児童生徒支援からいじめ問題を考える(講義・演習:A-35、36、37と合同) 神田外語大学 客員教授 嶋崎 政男					マネジメント能力④ 生徒指導力①②③	
担当者からの メッセージ	いじめ問題では、難しい対応を求められるケースが多くあります。本講座では、講師の豊富な経験に基づき、いじめ問題について、危機管理、保護者対応、児童生徒支援という視点から捉えていきます。いじめだけでなく生徒指導全般について考えを深めることができる講座です。						

連絡先：支援チーム 児童生徒支援担当 TEL (018)873-7205

C-40	学級・学校づくりに活かす伝わる言葉のかけ方					
研 修 の 目 標		対 象 と 定 員				
学級・学校における人間関係づくりや信頼関係を築くための有効な支援について、体験を通して具体的に学び、学校で実践する力の向上を図る。		幼保認	小	中	高	特
		教諭、養護教諭、栄養教諭、講師(臨時)、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。					
日 時	研 修 内 容			指標における主な項目		
8 / 7 (木) 10:00～16:15	○学級・学校づくりに向けてかかわりの力を育てる (講義・演習) かかわりプログラムSimple 代表 曾山 和彦			生徒指導力①②④		
担当者からの メッセージ	コロナ禍において児童生徒の関わりの機会が制限され、人とのコミュニケーションに悩む児童生徒が増えています。その中で学級・学校づくりに悩まれている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。本研修では、曾山氏の実践に基づいたお話と演習を通して、実際に学級・学校づくりを体験していただきます。そして、たくさんのヒントを見付けていただければと思います。					

連絡先：支援チーム 児童生徒支援担当 TEL (018)873-7205

研修コード F00-041

C-41	児童生徒理解に生かすアドラー心理学						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
教師の生徒指導力を高めるため、勇気づけや共同体感覚、これからの学校教育について学び、児童生徒理解に生かすことができる教育相談の力やコミュニケーションスキルの向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員、幼稚園教諭、保育士、保育教諭 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
7 / 24 (木) 10:00～16:15	○勇気づけで共同体感覚を育てる(講義・演習) 文教大学教育学部 教授 会沢 信彦				生徒指導力①②④		
担当者からの メッセージ	アドラー心理学には、学級や集団への所属感・共感・信頼感・貢献感を総称した「共同体感覚」を育成するという目標があります。児童生徒理解の理論と共同体感覚の意義などを理解し、アドラーの教育論をどのように児童生徒理解に生かしているのかを学ぶことができるとともに、集団を対象としたグループアプローチについて理解を深められる講座です。						

連絡先：支援チーム 児童生徒支援担当 TEL (018)873-7205

C-42	不登校の理解と支援					
研 修 の 目 標		対 象 と 定 員				
不登校の悩みを抱える児童生徒の理解に当たり、その背景やどのような支援ができるかを考えることを通して、不登校支援について理解を深める。		幼保認	小	中	高	特
		教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。					
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目	
8 / 20 (水) 10:00～14:50	○公開講演「引きこもりにもつながりうる児童生徒の不登校ーその背景を知るー」 秋田大学教育文化学部 教授 北島 正人				生徒指導力①③④	
	○“現代の不登校”を踏まえた子どもの支援(講義・演習) 秋田大学教育文化学部 教授 北島 正人				生徒指導力①③④	
担当者からの メッセージ	近年の不登校児童生徒数の急増はとても心配です。学校においても、どのような支援が効果的かと試行錯誤する毎日のことと思います。本研修では、北島教授から、不登校の理解と支援について教職員が今できることをたくさん提供していただけます。不登校支援のヒントを求めている方にお勧めの研修です。					

連絡先：支援チーム 児童生徒支援担当 Tel (018)873-7205

C-43	教育相談に生かすカウンセリングの技法						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
悩みや問題を抱えている児童生徒に適切に対応するために、学校において活用しやすいカウンセリングの技法について理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員 30名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
10/24 (金) 10:00～16:15	○教育相談に生かすカウンセリングの技法(講義・演習) 秋田大学教育文化学部 教授 柴田 健				生徒指導力①③		
担当者からの メッセージ	柴田教授は、受講者の学びたいことを基に研修内容を組み立ててくださるので、初めての方も以前に何度か受講した方も満足できる充実した内容となっています。受講者の疑問を確認し丁寧に答えながら進行してくれますので、難しいと感じることも、最後には「なるほど」と納得できます。教育相談に疑問や不安を感じている方、ヒントを求めている方にお勧めの研修です。						

連絡先：支援チーム 児童生徒支援担当 TEL (018)873-7205

C-44	主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり ー知的障害のある児童生徒への「教科別の指導」と授業改善ー						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
知的障害のある児童生徒への「教科別の指導」における、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりと授業改善のポイントについて学ぶ。			幼保認	小	中	高	特
			教諭、講師（臨時）、 非常勤講師 40名				
受講申込に当たって		定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。					
日 時		研 修 内 容			指標における主な項目		
7 / 4 (金) 10:00～16:15		○知的障害のある児童生徒への「教科別の指導」における主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりと授業改善のポイント(講義・演習) 茨城大学教育学部 教授 新井 英靖			教科等指導力①②④		
担当者からの メッセージ		「『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実し、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善につなげるとは、どういうことか？」学校現場では、このような問いを抱く方が多いのではないのでしょうか。このことを踏まえ本講座では、茨城大学の新井教授から、知的障害のある児童生徒への「教科別の指導」における授業づくりと授業改善のポイントについて講義していただきます。具体的な実践例等を通して、「教科別の指導」への理解を深めることができます。					

連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

研修コード F00-045

C-45	アセスメントの方法と指導の実際						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
児童生徒の特性に応じた指導・支援に生かすことができるように普通の授業や日常の観察から、WISC-V知能検査の概要と基本的な結果の解釈、支援方法まで、アセスメントの在り方について理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教頭、教諭、養護教諭 (WISC-Vの実施や解釈を求められている教員) 40名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
6/13 (金) 10:00～16:15	OWISC-V 知能検査の概要と基本的な検査結果の解釈 (講義・演習) 日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六 一志				生徒指導力①④		
備 考	センターを会場として、オンラインによる講義を行う。						
担当者からの メッセージ	発達が気にかかる児童生徒の認知特性を知ることは、個に合わせた指導を考える上でとても重要です。この講座は、学級担任等が普通の授業や日常の観察、生育歴等を基にした実態把握や背景要因の分析の方法から、WISC-V知能検査の概要と基本的な結果の解釈まで、アセスメントから分かる特性や学校での具体的な指導・支援について考えることができます。アセスメントの方法を広く、深く学びたい先生方にとって大変参考になる講座です。 ※検査の実施方法を学ぶ講座ではありません。						

連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

C-46	自校におけるインクルーシブ教育の推進						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
インクルーシブ教育の推進に当たり、発達障害の特性を理解し、気になる行動の背景要因を探ることで、合理的配慮等を検討していくとともに、多様性を認め合う学級づくりの在り方について理解を深める。			幼保認	小	中	高	特
			教頭、教諭、養護教諭、講師（臨時）、非常勤講師 40名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容				指標における主な項目		
8 / 22 (金) 10:00～16:15	○公開講演「発達障害の理解と支援ー子どもの困難さから考えるー」(講義・演習) 宮城学院女子大学教育学部 教授 梅田 真理				生徒指導力①④		
	○「インクルーシブ教育時代に押さえる学級づくりのポイント」(講義・演習) 宮城学院女子大学教育学部 教授 梅田 真理				生徒指導力①④		
担当者からの メッセージ	公開講演では、自校のインクルーシブ教育を推進する上で求められる発達障害への理解と支援について、子どもの困難さの視点から学ぶことができます。また、本講座では、多様性を認め合う学級づくりにつながる、授業づくりのポイントや保護者や周囲の友達との関係づくり等、より専門的で具体的な内容になっています。						

連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

研修コード F00-047

C-47	発達が気がかりな子どもと保護者の支援 〔オンライン研修〕				
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員		
発達が気がかりな子どもの発達特性について理解を深め、具体的な支援を学ぶ。また、保護者への支援についても理解を深める。			幼保認	小	中
			高	特	
			教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（臨時）、非常勤講師、実習助手、寄宿舍指導員、幼稚園教諭、保育士、保育教諭 80名		
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。				
日 時	研 修 内 容			指標における主な項目	
9 / 4 (木) 9:00～12:00 [オンライン実施]	○発達が気がかりな子どもの理解と支援(講義) 明星大学教育学部 教授 星山 麻木 ○保護者への支援(講義) 明星大学教育学部 教授 星山 麻木			生徒指導力①④ マネジメント能力⑥ 生徒指導力③	
備 考	センターに集合せず、オンラインにより実施する。				
担当者からの メッセージ	「相手の心に寄り添う」ことをベースに、子どもの特性の理解や保護者対応の視点を具体的に学ぶことができる講座です。				

連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

C-48		小学校講師研修講座C					
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
授業研修等を通じて、県内の学校に勤務する講師として必要な資質の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			講師（臨時）、非常勤講師 20名				
受講申込に当たって		・ I、Ⅱ期両日共、受講することを原則とする。 ・ 「A-43小学校講師研修講座A」の受講者も受講申込が可能。 ・ 定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。					
日 時		研 修 内 容					
I	6 / 16 (月) 10:00～16:15 [オンライン実施]	○教育相談の考え方と児童生徒理解(講義・演習) ○授業づくりの実際①(講義・協議)					
Ⅱ	9 / 25 (木) 10:00～16:15	○授業づくりの実際②(講義・協議)					
携 行 品		Ⅱ期：詳細はⅠ期の際に連絡する。					
備 考		Ⅰ期：センターに集合せず、オンラインにより実施する。 Ⅱ期：授業づくりの実際②では、模擬授業研修を行う。選択教科は5月上旬に希望を確認する。					
担当者からの メッセージ		講師の皆さんの学びの場です。児童理解や授業づくりについての基礎・基本を確認しながら、指導力の向上を図りましょう。					

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

研修コード F00-049

C－49		中学校講師研修講座C						
研 修 の 目 標				対 象 と 定 員				
授業研修等を通じて、県内の学校に勤務する講師として必要な資質の向上を図る。				幼保認	小	中	高	特
				講師（臨時）、非常勤講師 20名				
受講申込に当たって		・ I、Ⅱ期両日共、受講することを原則とする。 ・ 「A－44中学校講師研修講座A」の受講者も受講申込が可能。 ・ 定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時		研 修 内 容						
I	6 / 30 (月) 10:00～16:15 [オンライン実施]	○教育相談の考え方と児童生徒理解(講義・演習) ○授業づくりの実際①(講義・協議)						
Ⅱ	9 / 30 (火) 10:00～16:15	○授業づくりの実際②(講義・協議)						
携 行 品		全期：担当教科の「中学校学習指導要領解説」（平成29年、文部科学省） Ⅱ期：詳細はⅠ期の際に連絡する。						
備 考		Ⅰ期：センターに集合せず、オンラインにより実施する。						
担当者からの メッセージ		講師の皆さんの学びの場です。生徒理解や授業づくりについての基礎・基本を確認しながら、指導力の向上を図りましょう。						

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

C－50		高等学校講師等研修講座C						
研 修 の 目 標				対 象 と 定 員				
授業研修等を通じて、県内の学校に勤務する講師等として必要な資質の向上を図る。				幼保認	小	中	高	特
				講師（臨時）、非常勤講師、 実習助手（臨時） 20名				
受講申込に当たって		・ I、Ⅱ期両日共、受講することを原則とする。 ・ 「A－45高等学校講師等研修講座A」の受講者も受講申込が可能。 ・ 定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時		研 修 内 容						
I	5 / 27 (火) 10:00～16:15	○教育相談の考え方と生徒理解(講義・演習) ○授業づくりの実際①(講義・協議)						
Ⅱ	9 / 16 (火) 10:00～16:15	○授業づくりの実際②(講義・協議)						
携 行 品		全期：担当教科の「高等学校学習指導要領解説」（平成30年、文部科学省） Ⅱ期：詳細はⅠ期の際に連絡する。						
担当者からの メッセージ		講師等の皆さんの学びの場です。生徒理解や授業づくりについての基礎・基本を確認しながら、指導力の向上を図りましょう。						

連絡先：教科・研究チーム TEL (018)873-7203

C－51		特別支援学級・特別支援学校講師等研修講座C					
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
授業研修等を通じて、県内の学校に勤務する講師等として必要な資質の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			講師（臨時）、非常勤講師、 実習助手（臨時） 20名				
受講申込に当たって			・ I、Ⅱ期両日共、受講することを原則とする。 ・ 特別支援学校に勤務する「A－46特別支援学校講師等研修講座A」の受講者も受講申込が可能。 ・ 定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。				
日 時			研 修 内 容				
I	5 / 30 (金) 10:00～16:15		○授業づくりの基礎・基本①－学級づくり－（講義・演習） ○授業づくりの基礎・基本②－授業のデザインと実践－（講義・演習）				
Ⅱ	10 / 2 (木) 10:00～16:15		○授業研修（協議）				
携 行 品			Ⅰ期：「特別支援教育のミニマムスタンダード」（当センターウェブサイトから各自ダウンロード） Ⅱ期：6～9月に実施した授業に関わる次の①～③のもの ①学習指導案（略案） ②授業の録画映像（DVカメラ、タブレット、スマートフォン等、TVに接続再生可能な機器とその接続に必要なケーブル等も持参する） ③教科書、資料、教材・教具等（必要に応じて）				
担当者からの メッセージ			講師等の皆さんの学びの場です。授業づくりについての基礎・基本を確認しながら、指導力の向上を目指しましょう。				

連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215

C-52		養護教諭(臨時)研修講座C					
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
児童生徒理解や学校保健についての研修を通じて、県内の学校に勤務する臨時養護教諭として必要な資質の向上を図る。			幼保認	小	中	高	特
			養護教諭(臨時) 20名				
受講申込に当たって		・「A-47養護教諭(臨時)研修講座A」の受講者も受講申込が可能。 ・定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。					
日 時		研 修 内 容					
7 / 2 (水) 10:00~16:15		○教育相談の考え方と児童生徒理解(講義・演習) ○救急処置・救急体制について(講義・協議) ○疾病管理について(講義・協議)					
担当者からの メッセージ		臨時養護教諭の皆さんの学びの場です。児童生徒理解や職務についての基礎・基本を確認しながら、指導力の向上を目指しましょう。					

連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

Ⅳ オンライン研修

次に掲載する講座は、Zoomを使用して、オンラインにより実施します。

講座当日に、当センターに集合する必要はありません。原則として、各学校での受講とします。インターネットに確実に接続できる環境が整備された、研修に適した場所で受講してください。諸事情により学校以外で受講する場合は、担当まで事前に御連絡ください。

不明な点は、研修チームまでお問合せください。（研修チーム TEL (018)873-7202）

1 令和7年度オンライン研修の対象講座

講座番号	研 修 講 座	実 施 期 日
A-1A	初任者研修講座（小学校A）IX期	令和8年1月8日
A-1B	初任者研修講座（小学校B）IX期	令和8年1月8日
A-2	初任者研修講座（中学校）IX期	令和8年1月8日
A-3	初任者研修講座（高等学校）X期	令和8年1月6日
A-4	初任者研修講座（特別支援学校）Ⅷ期	令和8年1月7日
A-20	中堅教諭等資質向上研修講座（小学校）I期	令和7年6月24日
A-21	中堅教諭等資質向上研修講座（中学校）I期	令和7年6月24日
A-22	中堅教諭等資質向上研修講座（高等学校）I期	令和7年6月24日
A-23	中堅教諭等資質向上研修講座（特別支援学校）I期	令和7年6月24日
A-24	中堅教諭等資質向上研修講座（養護教諭）I期	令和7年6月24日
A-28	小・中学校新任教頭研修講座I期	令和7年5月15日
A-29	県立学校新任教頭研修講座I期	令和7年5月15日
A-30	小・中学校新任教務主任研修講座I期	令和7年5月30日
A-31	県立学校新任教務主任研修講座I期	令和7年5月27日
A-42	通級指導教室新担当者研修講座	令和7年4月17日
C-9	高等学校数学科の授業づくり	令和7年9月26日
C-32	発達の段階に応じた情報モラル教育の理解と実践	令和7年9月4日
C-47	発達が気にかかる子どもと保護者の支援	令和7年9月4日
C-48	小学校講師研修講座C I期	令和7年6月16日
C-49	中学校講師研修講座C I期	令和7年6月30日

※上記の講座以外にも、集合型研修をオンライン研修に切り替えることがあります。その際は、原則として、講座実施2週間前までに当センターウェブサイトでお知らせします。

2 オンライン研修の確認事項

(1) 研修前日まで

① 使用機器等の準備

オンライン接続用に、カメラ機能とマイク機能があるパソコン等の端末を準備の上、あらかじめビデオ会議アプリ「Zoom」をインストールしてください。スマートフォンによる接続ではなく、十分な画面サイズがあるパソコン等の使用を推奨します。なお、「Zoom」は、受講前に、必ず更新しておいてください。

受講者が複数いる場合は、人数分の機器が必要です。また、研修中にハウリング等が発生したり、協議の際に周囲の声が入ったりしないよう、マイク付きイヤホン等の準備や、適切な距離を確保するなどの対応をお願いします。

② 接続テストについて

接続テストは実施しませんが、希望する方は、講座実施日の2週間前までに、講座担当に連絡してください。

③ 講座の事務連絡

講座当日の参加に必要なミーティングID・パスコード等については、原則として**講座実施の5日前**までに、講座担当から受講者の所属校にメールで連絡します。複数期ある研修については、直接配付することもあります。

④ 実施要項・講座資料等の準備

実施要項、講座資料、研修リフレクションシート等は、原則として**講座実施3日前**までに当センターウェブサイトを通じて提供します。講座当日までに、各自プリントアウトをして準備しておくか、Zoom接続用以外の端末等で見ることを、書き込むことができる環境を整えてください。

(2) 研修当日

① Zoomの接続

講座開始30分前から接続できます。接続の際は、ミーティングID・パスコードを入力してください。また、「表示名」に「受講者番号 氏名」を入力してください。「受講者番号 氏名」での表示がない場合、当センター側で出席確認ができませんので、注意してください。

② 研修中のZoom設定

研修中、発言時以外は「マイクはオフ（ミュート）、ビデオはオン」の状態にしてください。

③ 受講時の禁止事項

研修中の写真撮影・録画・録音、またはそれに準ずる行為は、著作権法に記載の違法行為に当たりますので、おやめください。

④ 受講時の注意事項

集合型研修と同様に、研修にふさわしい服装および集中できる環境で受講してください。受講途中に使用している機器のバッテリーが充電切れにならないようにしてください。

⑤ 研修中に不具合が生じた場合

研修中に、ネットワーク・使用機器の不具合など、研修の継続に支障をきたすような事態が発生した際は、速やかに当センター研修チーム情報教育担当にその旨を報告してください。

(研修チーム 情報教育担当 TEL (018)873-7204)

⑥ 研修リフレクションシートの提出

受講後、研修リフレクションシートを記入の上、研修翌日（土日を挟む場合は月曜日）までに、メールで講座担当まで送付してください（管理職による提出前の確認は必要ありません。提出後に報告してください）。研修リフレクションシートが届いた時点で研修完了となります。メールの送付先は、事務連絡で確認してください。

オンライン研修の流れ

研修講座 5 日前から

○所属校宛てにメールで送付される事務連絡でミーティングID・パスコード等を確認（複数期ある研修については、受講者に直接渡すことがある）

※接続テストが必要な場合は、講座実施日の2週間前までに講座担当に連絡

研修講座 3 日前から
前日まで

○当センターウェブサイトを通じて講座資料等をダウンロード

研修講座 当日

○講座開始の30分前から15分前までに接続
○講座終了後に「研修リフレクションシート」を提出
(研修翌日まで)

V 公開講演

公開講演は、総合教育センターで行う研修講座の中から、その講座の受講者以外の教育関係者の方々にも、優れた英知に直接触れる場を提供することを目的に実施するものです。

なお、広く県民の方々も聴講することができます。

○ 申込手続

- (1) 聴講希望者は「公開講演聴講申込書」（様式 4）を当センターウェブサイトからダウンロードし、必要事項を記入の上、開催日の 1 週間前までに、メール又は F A X で当センターまで申し込んでください。

E-mail kouza@akita-c.ed.jp
FAX (018)873-7201

- (2) ⑤のみ、オンラインでの聴講となります。

- (3) 聴講決定の通知は送りません。定員超過等で聴講申込みを受理できない場合は連絡します。

- (4) 諸事情により、公開講演の取りやめ、その他の変更などを行う場合は連絡します。

令和 7 年度に実施する公開講演一覧

①	6 月 27 日 (金)	13:00 ～14:30	特別活動を要としたキャリア教育の推進 A-33 中学校新任学年主任研修講座Ⅱ A-34 高等学校新任学年主任研修講座Ⅱ C-29 魅力ある学級活動（3）を目指して C-30 キャリア教育の視点を踏まえた授業づくり	文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官	長田 徹
②	7 月 2 日 (水)	13:00 ～14:30	道徳教育推進上の課題と 道徳教育推進教師の役割 A-39 小・中学校新任道徳教育推進教師研修講座 A-40 高等学校新任道徳教育推進教師研修講座	十文字学園女子大学 教授	浅見 哲也
③	8 月 20 日 (水)	10:00 ～12:00	引きこもりにもつながりうる 児童生徒の不登校 —その背景を知る— C-42 不登校の理解と支援	秋田大学 教授	北島 正人
④	8 月 22 日 (金)	10:00 ～12:30	発達障害の理解と支援 —子どもの困難さから考える— C-46 自校におけるインクルーシブ教育の推進	宮城学院女子大学 教授	梅田 真理
⑤	9 月 4 日 (木)	14:00 ～16:00	1 人 1 台端末環境に求められる 情報活用能力としての情報モラル教育 〔オンライン実施〕 C-32 発達の段階に応じた情報モラル教育の理解と実践 C-33 生成 A I やデジタルツールを活用した授業づくり	静岡大学 准教授	塩田 真吾

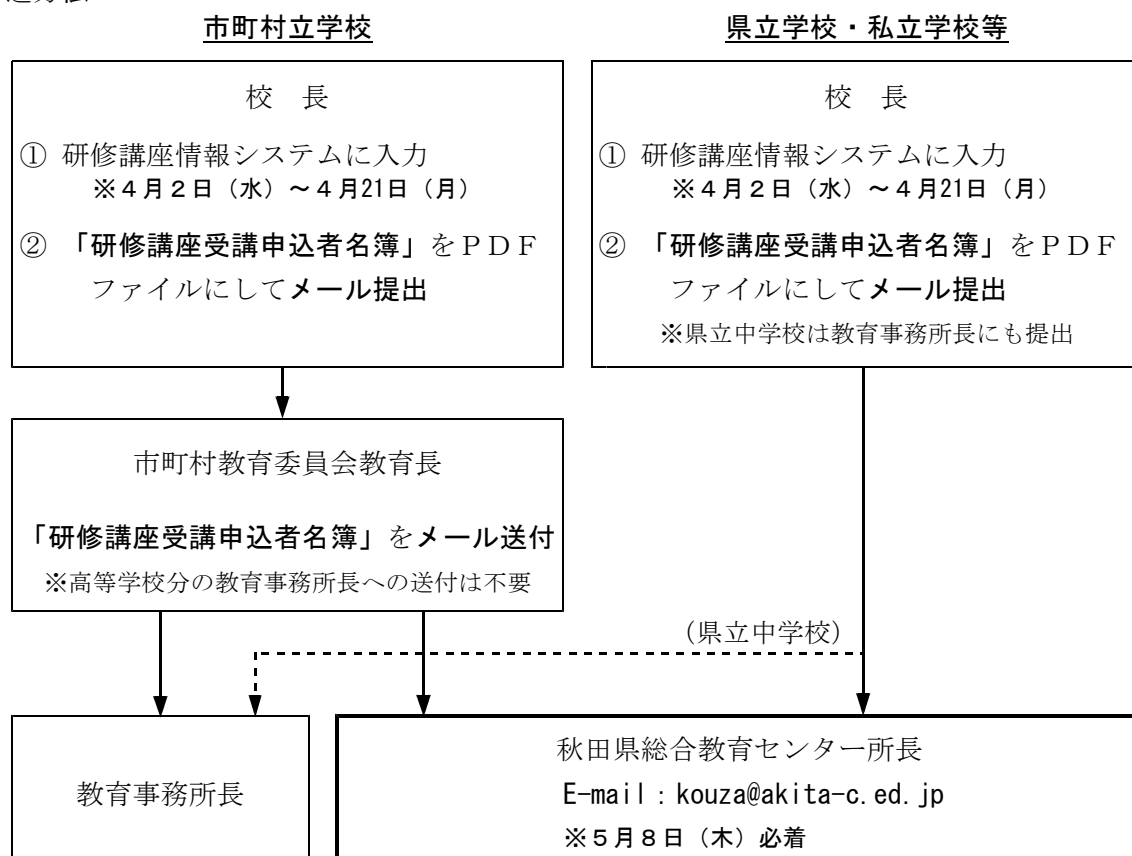
連絡先：研修チーム TEL (018)873-7202

Ⅵ センター研修講座の受講に関わる諸手続

小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校

1 申込手続〔基本研修講座(A講座)・専門研修講座(C講座)〕

(1) 申込方法



※E-mailの件名には、学校名、又は、市町村名とともに「研修講座申込書」と明記してください。

※受講申込者がいない場合でも、学校名等を確認してPDFファイルにした「研修講座受講申込者名簿」の提出が必要です。

※合理的配慮を希望する場合は、申込後、速やかに受講する研修講座の担当者に連絡してください。

(2) 申込入力締切（各学校における研修講座情報システムへの入力締切）

4月21日(月)

※入力締切までは、各校においてシステム上での申込の変更・追加は可能です。

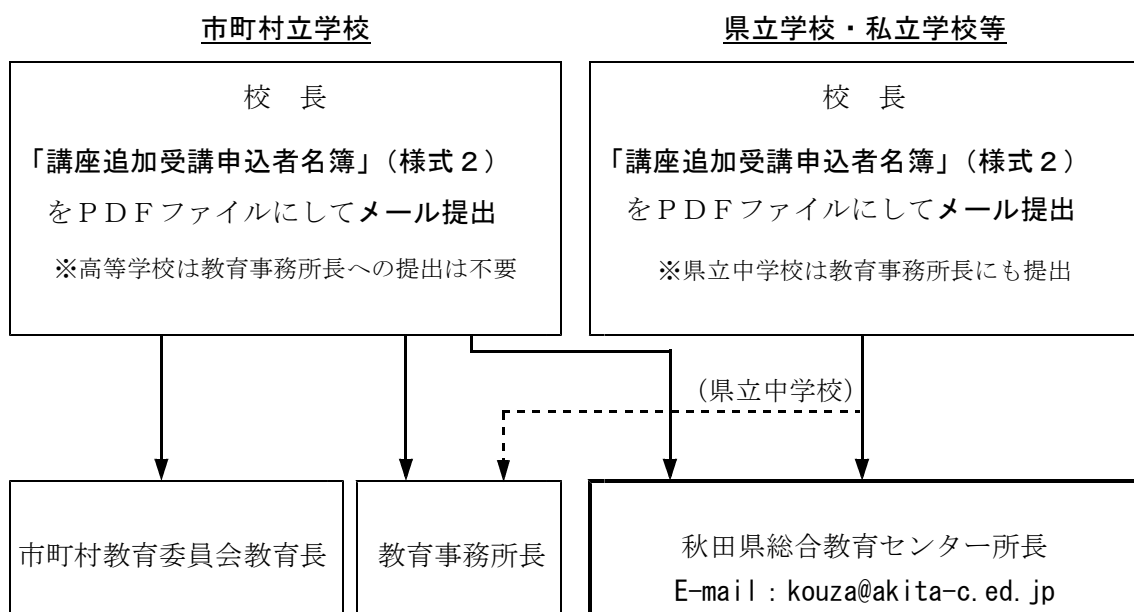
(3) 研修講座受講申込者名簿送付締切

5月8日(木) 秋田県総合教育センター必着

市町村立学校は、余裕をもって市町村教育委員会に研修講座受講申込名簿を送付してください。

2 追加申込手続〔専門研修講座（C講座）〕

当センターウェブサイトで「専門研修講座（C講座）追加募集情報」を確認した後、各研修講座担当に連絡してください。その上で、「講座追加受講申込者名簿」（様式2）をダウンロードし、必要事項を記入後、次のように提出してください。

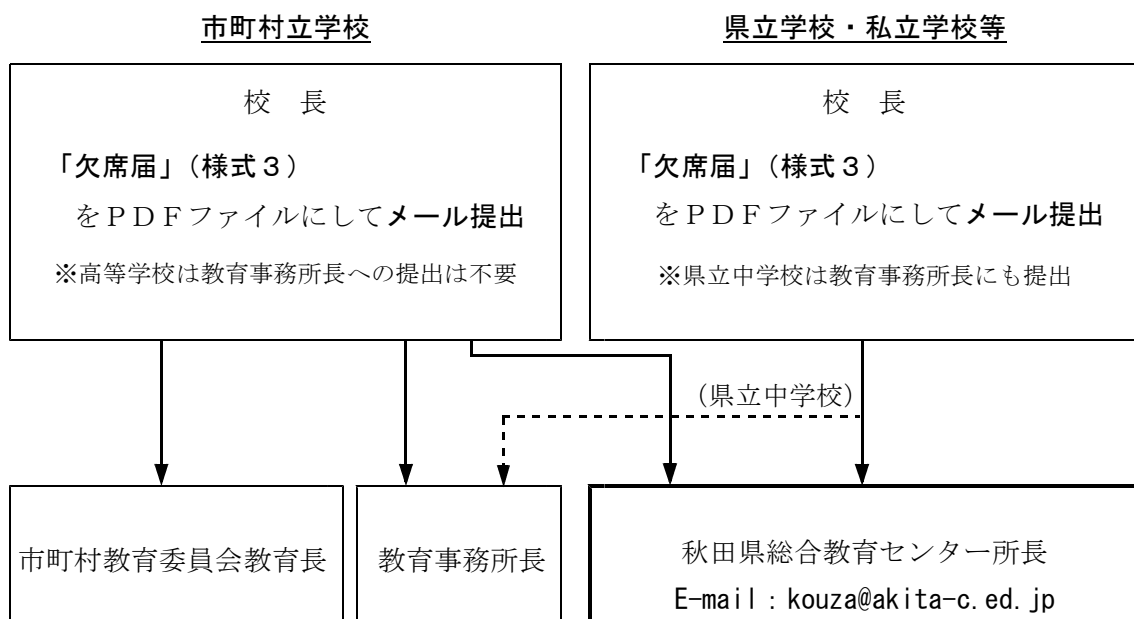


※当該研修講座の2週間前までに手続してください。

※受講決定の通知は送りません。定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ連絡します。

3 欠席に関わる手続

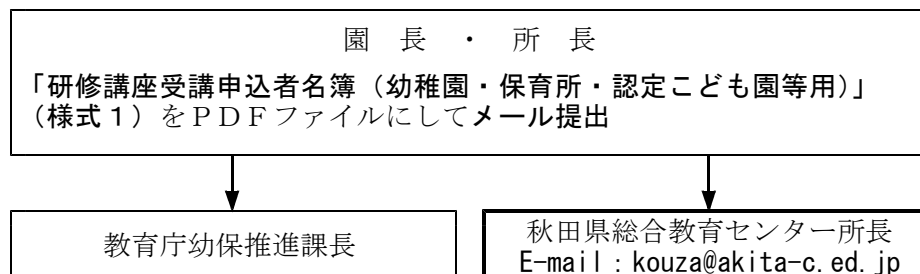
管理職から事前に各研修講座担当に連絡の上、「欠席届」（様式3）をダウンロードし、必要事項を記入後、次のように提出してください。



幼稚園・保育所・認定こども園等

1 申込手続〔専門研修講座(C講座)〕

(1) 申込方法



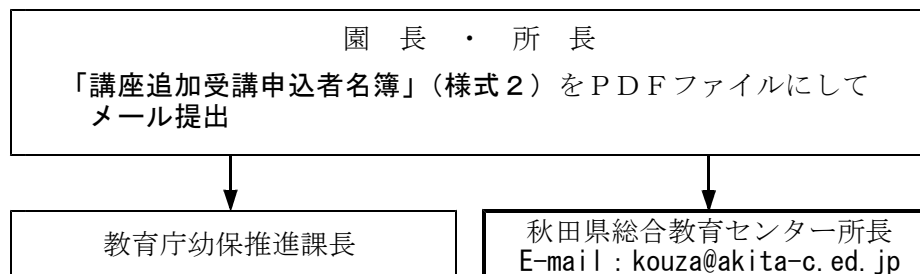
※郵送による申込も可能です。

(2) 申込締切

4月21日（月）秋田県総合教育センター必着で申し込んでください。

2 追加申込手続〔専門研修講座(C講座)〕

当センターウェブサイトで「専門研修講座(C講座)追加募集情報」を確認した後、各研修講座担当に連絡してください。その上で、「講座追加受講申込者名簿」（様式２）をダウンロードし、必要事項を記入後、次のように提出してください。



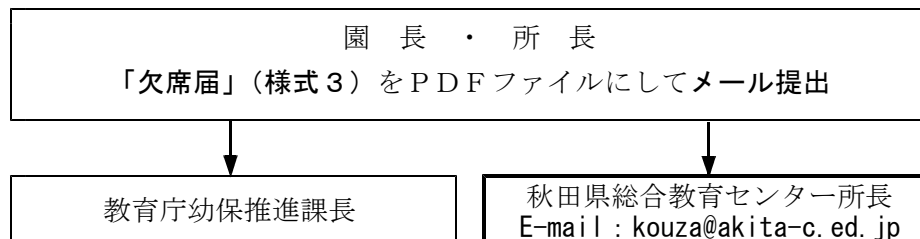
※当該研修講座の2週間前までに手続してください。

※受講決定の通知は送りません。定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ連絡します。

※郵送による申込も可能です。

3 欠席に関わる手続

事前に各研修講座担当に連絡の上、「欠席届」（様式３）をダウンロードし、必要事項を記入後、次のように提出してください。



※郵送による提出も可能です。

VII センター研修講座の受講に関わる諸手続の様式

研修講座情報システム入力時の注意事項

入力期間 4月2日(水)～4月21日(月)

- 1 ユーザーID及びパスワードに関するお問合せは、次のようにお願いします。

・市町村立学校	→	各市町村教育委員会
・県立学校・私立学校等	→	秋田県総合教育センター 研修チーム 情報教育担当
		TEL (018)873-7204

- 2 秋田県総合教育センターウェブサイトの「研修講座受講申込の関連ジャンル」をクリックします。ページ下部にある研修講座情報システム操作マニュアルの「詳細マニュアル」(PDF)及び「簡単マニュアル」(PDF)、「学校番号一覧」(PDF)をダウンロードして使ってください。
- 3 「研修講座情報システムの入り口」をクリックすると、研修講座情報システムのページに入ります。「研修講座情報システム」に入りましたら、入力の前に「お知らせ」(システム管理者からのお知らせ)を確認してください。
- 4 A講座の受講対象者について、事情があつて欠席することがあらかじめ分かっている場合でも必ず入力してください。入力後、速やかに管理職から各研修講座担当に連絡し、その後の手続きについて確認をお願いします。

**令和 7 年度秋田県総合教育センター
研修講座受講申込者名簿（幼稚園・保育所・認定こども園等用）**

(宛先) _____ 様

市町村名 _____

園・所名 _____

園長・所長氏名 _____

電話番号 () -

申込人数	人
------	---

専門研修講座（C講座）：所属長の承認を得て、希望者が受講する研修講座

講座番号	講 座 名	職 名	氏 名
C - 13	気付きの質を高める生活科の授業づくり		
C - 18	子どもが生き生きと活動する「造形遊び」		
C - 21	幼児児童の基本的な動きづくりの指導 ー子どもの体力向上につながる授業づくりー		
C - 31	救急に役立つ応急手当		
C - 32	発達の段階に応じた情報モラル教育の理解と実践		
C - 33	生成A I やデジタルツールを活用した授業づくり		
C - 34	基礎的な動画編集とその活用		
C - 37	学校におけるI C T活用の基礎A (Google Workspace) (AとBは同一内容、いずれかを選択して受講)		
C - 37	学校におけるI C T活用の基礎B (Microsoft365) (AとBは同一内容、いずれかを選択して受講)		
C - 41	児童生徒理解に生かすアドラー心理学		
C - 47	発達が気がかりな子どもと保護者の支援		

※（様式 1）は、幼稚園・保育所・認定こども園等対象の受講申込者名簿です。

(様式 2)

令和 年 月 日

(宛先) 様

学 校 番 号

学 校 名

校 長 氏 名

電 話 番 号 () -

講座追加受講申込者名簿

講座番号	講座名	実施期日	職員番号	職 氏 名
—				
—				
—				
—				

※(様式 2) は、専門研修講座(C講座)の追加受講申込者名簿です。

※学校番号は、秋田県の給与システムにおける所属コード(11で始まる5桁の番号)です。

幼稚園・保育所・認定こども園等は不要です。

※幼稚園・保育所・認定こども園等は、学校名、校長名の欄に、園・所名、園長・所長氏名を記入してください。

※職員番号は、共済組合番号と同じです。臨時職員や非常勤職員、幼稚園・保育所・認定こども園等の職員の場合は空欄としてください。

(様式3)

令和 年 月 日

(宛先) 様

学 校 番 号

学 校 名

校 長 氏 名

電 話 番 号 () -

欠 席 届

講座番号	—	講座名			
実施期日	月 日～ 月 日		欠 席 日	月 日～ 月 日	
職 氏名				職員番号	
欠席事由				*センター記入欄 (各学校の記入は不要です)	

※研修講座案内p123を参照の上、提出してください。

※学校番号は、秋田県の給与システムにおける所属コード（11で始まる5桁の番号）です。

幼稚園・保育所・認定こども園等は不要です。

※幼稚園・保育所・認定こども園等は、学校名、校長名の欄に、園・所名、園長・所長氏名を記入してください。

※職員番号は、共済組合番号と同じです。臨時職員や非常勤職員、幼稚園・保育所・認定こども園等の職員の場合は空欄としてください。

※複数期ある講座の通年欠席はまとめて1枚で提出してください。

(様式4)

令和 年 月 日

秋田県総合教育センター所長 様

学 校 名

校 長 氏 名

電 話 番 号 () -

公開講演聴講申込書

講演 番号		演 題			
実 施 期 日	年 月 日 ()				
聴講希望者	職 名	氏 名	職 名	氏 名	

※(様式4)は、秋田県総合教育センターの公開講演聴講申込書です。研修講座案内p121を参照の上、記入してください。

※幼稚園・保育所・認定こども園等は、学校名、校長氏名の欄に、園・所名、園長・所長氏名を記入してください。

※学校以外の教育関係者並びに一般県民の方は、学校名、校長氏名の欄に、所属名、所属長氏名を記入してください。

VIII 学校支援講座

秋田県総合教育センターが各学校の校内研修等を支援します。

1 講座について

(1) 研修内容について

当センターで実施している専門研修講座（C講座）の内容^(※)や、センター研究でまとめた研修の手法（ワークショップ等）を生かした講座を実施します。詳しい内容や進め方については申込み後、相談の上決定します。

^(※) 専門研修講座（C講座）の詳しい内容については、研修講座案内を参考にしてください。

なお、外部講師による研修講座については、一部対応が難しい場合があります。

【参考】研修内容（例）

- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて
- ・ 主体的・対話的で深い学びにつながる道徳科の授業
- ・ 情報モラル教育の進め方
- ・ 教育相談の基本的姿勢・考え方
- ・ 多様な児童生徒の学びを支える授業（特別支援教育の視点から）

(2) 講座実施期間 7月1日（火）～11月28日（金）

(3) 経費等

秋田県総合教育センター所員の学校訪問等に要する旅費や資料代等は当センターが負担します。ただし、実験や実習等を伴う講座での消耗品の経費等は、学校に負担をお願いする場合があります。

2 申込みについて

(1) 申込期間 5月12日（月）～6月2日（月）

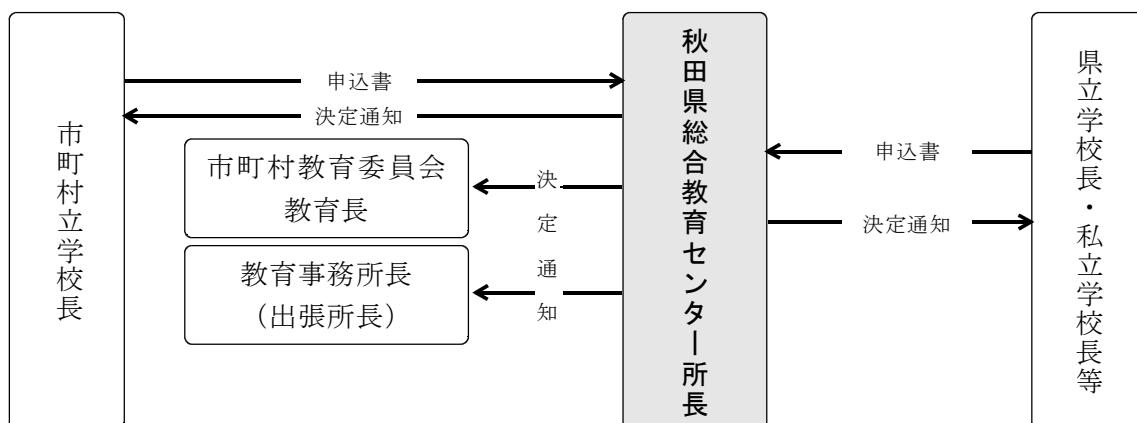
※申込み期間内であっても、状況によっては受付を締め切る場合があります。

(2) 申込手順

① 当センターウェブサイトからダウンロードした「学校支援講座申込書」（様式5）（Excel版）に必要事項を記入して、PDF形式で保存したファイルをE-mailに添付し、センター所長宛てに提出してください。

② E-mailの件名には、学校名とともに、「学校支援講座申込書」と明記してください。

提出先 E-mail: kouza@akita-c.ed.jp



(3) 申込書記入要領

○学校名・校長氏名

学校名と校長氏名（複数校が合同で申し込む場合には、代表校名とその校長氏名）を記入してください。

○希望日時

講座実施期間の範囲内で、希望の日時を第3希望まで記入してください。その際、期日の間隔には幅をもたせてください。講座の時間は、60分から120分までとします。

○受講予定人数

学校支援講座に参加する人数（予定）を記入してください。

○会場

会場名を記入してください。相談の上で、当センターを会場にすることもできます。

○合同開催の場合の参加学校名

複数校の合同開催を希望する場合には、代表校以外の参加学校名を記入してください。単独申込みの場合には記入する必要はありません。

○希望内容

希望する研修内容を記入してください。

○研修の目的

学校経営の重点や各学校や地域の課題、又は研究テーマ等との関連という観点から、学校支援講座を実施する目的を簡潔に記入してください。また、実施前には参加者に十分周知してください。

○研修内容や進め方等に関する要望

研修内容や進め方に関する具体的な要望を記入してください。なお、授業研究会の指導助言や、個別事例に関する相談での申込みはできません。

○備考

その他、申込みに当たって必要なことがありましたら記入してください。

○担当者職・氏名、連絡先

当センターから必要な連絡をする際の担当者の職名と氏名を記入してください。併せて、電話番号も記入してください。

(4) 受講決定

- ・日程や内容等により申込みを受理できない場合は、速やかに連絡します。
- ・7月上旬までに受講決定をし、電話連絡の後、文書で通知します。

※内容や進め方等について、受講決定の前に学校に問い合わせることがあります。

3 問合せ

学校支援講座担当 TEL (018)873-7205（支援チーム）

(様式5)

令和7年度 学校支援講座申込書

学校名・校長氏名	
----------	--

秋田県総合教育センターの学校支援講座について、次のとおり申し込みます。

希望日時	第1希望	月 日 () 時 分 ~ 時 分	分
	第2希望	月 日 () 時 分 ~ 時 分	分
	第3希望	月 日 () 時 分 ~ 時 分	分
受講予定総人数		人	
会 場			
合同開催の場合の 参加学校名			
希望内容			
研修の目的 学校経営の重点・課題、 又は、研究テーマとの関 連			
研修内容や 研修の進め方等に 関する要望			
備 考			
担当者 職・氏名		職名	氏名
連絡先		電話 ()	—

※(様式5)は、学校支援講座の申込書です。記入に当たっては、「2(3)申込書記入要領」を確認してください。

Ⅸ センター研修講座受講に当たって

1 事前の確認事項

- (1) 「令和7年度 研修講座案内」の該当する研修講座について、携行品等を確認してください。
- (2) 研修講座の変更、中止など、研修講座に関する新しいお知らせを当センターウェブサイトに掲載する場合があります。事前に確認してください。
- (3) 駐車場は、センターに向かって左側の駐車場を利用してください。天王みどり学園手前「教育相談用」と書かれたエリアには駐車しないでください。
- (4) センターの食堂は営業していません。
- (5) 受講に当たっての確認事項等を記載した「研修講座受講の皆様へ」を、当センターウェブサイトに掲載していますので、確認してください。

2 感染症の対策

体調の確認と周囲の感染状況の確認をお願いします。「感染症の対策に関する協力について」を、当センターウェブサイトに掲載していますので、確認してください。

Ⅹ 災害等が発生した場合の研修講座の取扱い

秋田県内で震度6弱以上の地震や大津波、大型台風等の災害、またそれらに伴う大規模停電や公共交通機関の大幅な乱れ等が生じた場合の研修講座の取扱いについては、当センターウェブサイトで情報提供を行います。

また、当センターへの移動途中に災害等が発生した場合、まず落ち着いて身の安全を確保し、研修講座の出席については、所属長の判断を優先してください。ただし、所属長と連絡が取れないことも想定されることから、緊急時の行動及び連絡方法については、あらかじめ所属長と確認するなどの準備をお願いします。災害等により研修講座をやむを得ず欠席した場合は、「欠席届」（様式3）を提出してください。

なお、災害等の影響により、取りやめる研修講座が生じた場合、その延期、中止等の扱いについては、後日別途通知します。

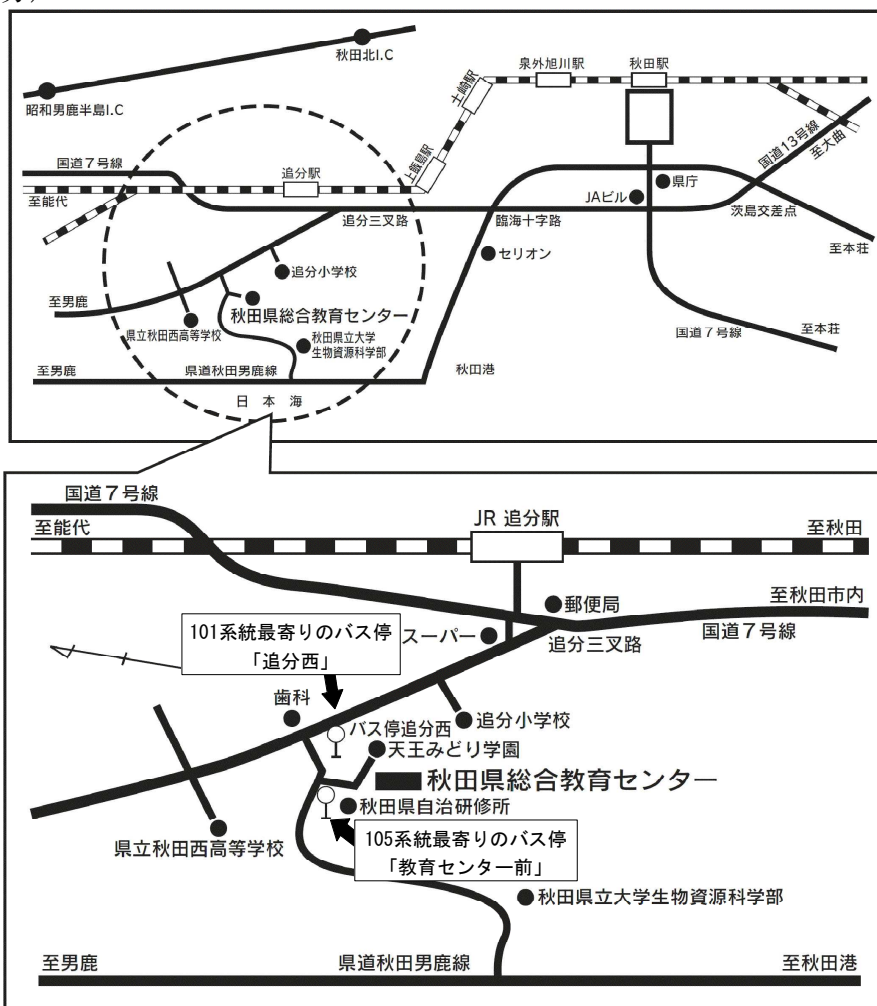
交 通 案 内

J Rを利用する場合

奥羽本線・男鹿線「追分駅」で下車、徒歩約25分。駅前にタクシー乗り場もあります。

バスを利用する場合

秋田駅西口バス乗り場4番線、秋田中央交通「追分線（101・105系統）」に乗車し、101系統は「追分西」で、105系統は「教育センター前」で下車してください。（所要時間はともに約40分）



秋 田 県 総 合 教 育 セ ン タ ー

所在地：〒010-0101 秋田県潟上市天王字追分西29-76

総務チーム		(018) 873-7200 (代表)
FAX専用		873-7201
研修チーム		873-7202
情報教育担当		873-7204
教科・研究チーム		873-7203

支援チーム	
児童生徒支援担当	 873-7205
特別支援教育担当	 873-7215
企画研修チーム	 873-7214

ウェブサイト <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/15558>